

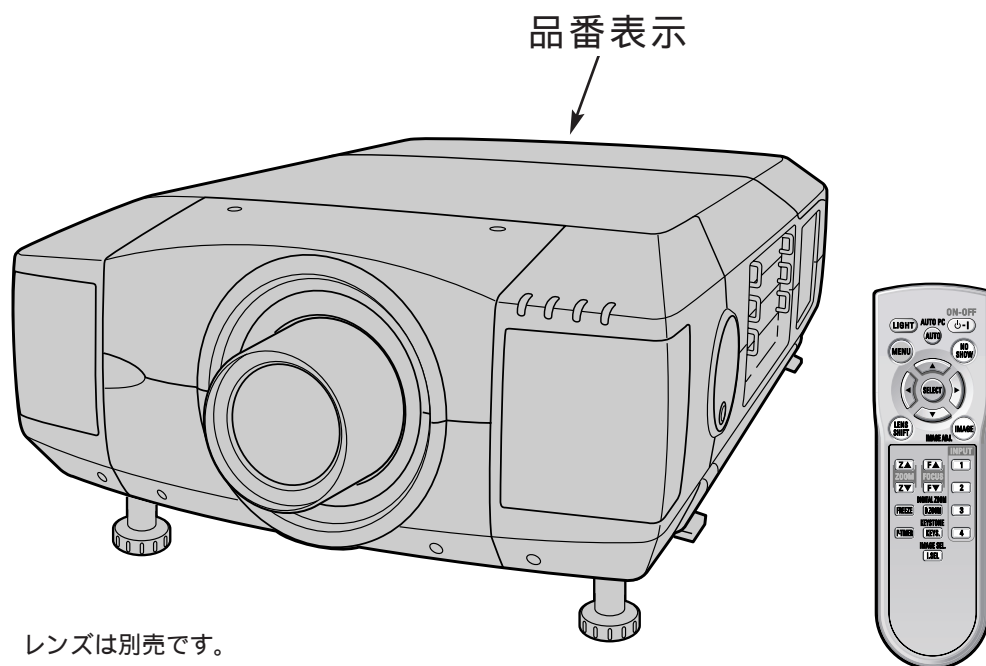
取扱説明書

SANYO

液晶プロジェクター 品番 LP-XF42

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



本製品は200V電源仕様です。200V電源についての詳しくは取扱販売店にご相談ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XF42 の特長

1024 x 768ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応。SXGA、UXGAにも圧縮対応。

遠隔操作でスマートなプレゼンテーションを可能にするワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

DVI-I (デジタル ビジュアル インターフェイス) 搭載

□デジタル ビジュアル インターフェイス (DVI) 入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。

プログレッシブスキャン

□プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投射します。

マルチパーサトルプラットフォーム

□豊富な入出力端子およびカードスロット式接続端子の採用により、ハード・ソフト環境の異なる各種コンピュータ・ビデオ機器に幅広く対応できるマルチパーサトルプラットフォーム設計になっています。

カードスロット式接続端子

□接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面の位置決めを容易にする電動レンズシフト機能。
- コンピュータの種類の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「自動PC調整」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投射できる「デジタルズーム機能」。(コンピュータモード時)
- 投射画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。
- 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能、画面を一時的に消す「NO SHOW」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力にも対応。

ネットワーク ボード (別売) に対応

□ネットワークボードを装着することにより、プロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。




天吊り、据置、リア投射など、さまざまな設置方法に対応。

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム。

□NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-Nカラーシステムに対応。(別売Video/Y, C & S-video ボードに対応)

点灯ランプを自動的に切り換える4ランプシステム

~ 本説明書中の記号について ~

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例: [SELECT]ボタン、[ANALOG RGB] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例: 「インプット」、「セッティング」

* 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

安全上のご注意……………4

準備

付属品を確認してください……………12
各部の名称……………13
機器をつなぐ端子……………14
操作パネルとインジケータ……………15
リモコンのボタン……………16
リモコンの準備……………17
設置のしかた……………19
接続の例～コンピュータ……………21
接続の例～ビデオ……………22
電源コードを接続する……………23

基本の操作

電源を入れる……………24
電源を切る……………25
ランプマネージメントについて……………26
投映画面を調整する……………28
画面を一時的に静止させる……………30
画面を一時的に消す……………30
プレゼン時に経過時間を表示する……………30
オンスクリーンメニューの操作方法……………31

コンピュータ入力

コンピュータ入りに切り換える……………33
コンピュータシステムの選択……………34
コンピュータシステムの調整……………35
イメージモードの選択……………38
画面サイズを調整する……………41

ビデオ入力

ビデオ入りに切り換える……………42
走査方式を選択する……………42
イメージモードの選択……………43
画面サイズを選択する……………46

セッティングメニューについて

「セッティング」メニューで
各種機能の設定をする……………47

その他

カードスロット式接続端子の交換……………51
ランプの交換……………52
お手入れについて……………53
内部の温度上昇について……………55
インジケータ表示と
プロジェクターの状態……………56
故障かなと思ったら……………57
コンピュータシステムモード一覧……………58
メニュー内容一覧……………60
仕様……………62
別売品……………63
端子の仕様……………64
寸法図……………66

保証とアフターサービス

準備

基本の操作

コンピュータ入力

ビデオ入力

メニュー
コンピュータ
にイ
ンテ
ィグ
で

その他

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。



してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。

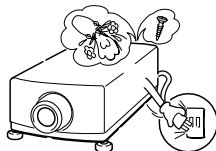
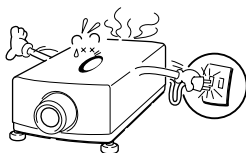


しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警告



下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・煙が出ている
- ・変なおいや音がする
- ・水など液体が本機の内部に入った
- ・金属類や異物が本機の内部に入った
- ・画面が映らない
- ・音が出ない
- ・大きな音が出てランプが消えた



禁止

故障したまま使用しない。

火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



警告



万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

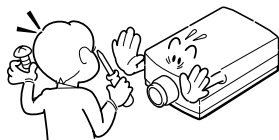
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜け



分解禁止



本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



感電注意



禁止

表示された電源電圧（交流 200 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

警告



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

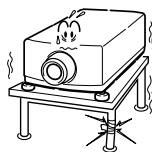


本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止



不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故やけがの原因となります。



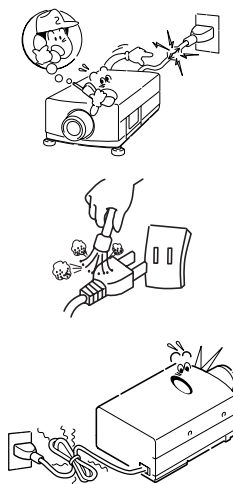
警告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取付が不十分のときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談下さい。



禁止

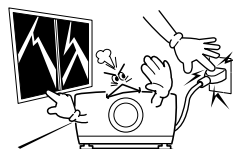


電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなく機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の近くには特にご注意を)
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせしないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



接触禁止



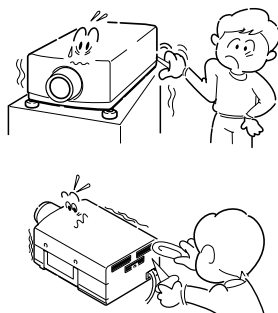
雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

警告



禁止



吸気口・排気口にご注意下さい。

- ・ ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- ・ 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・ 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



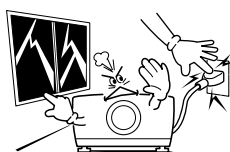
禁止

本機・リモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



接触禁止



雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。



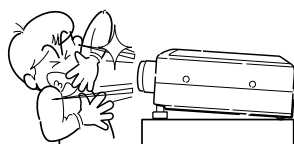
アース線を接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。(詳しくは、23ページをご覧ください。)



警告



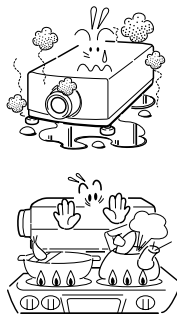
使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

注意



禁止



以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

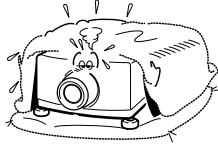
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

⚠ 注意



禁止



ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。空調設備の排気ダクト付近、冷暖気が直接当たる場所などに設置しないでください。

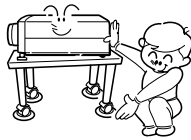
次のような使い方はしないでください。

- * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。(上方・側面・後面・排気口：各1m以上)



注意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

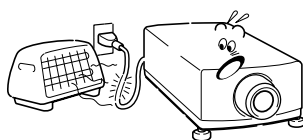


本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



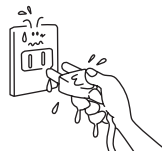
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

また、差し込むときは、根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。



ぬれ手禁止

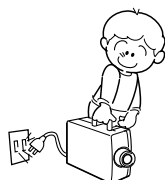


ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



電源プラグを
コンセントから抜け



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて
行ってください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け

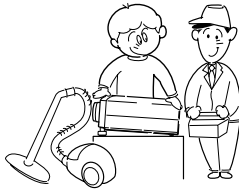


長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグ
をコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



注意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となること
があります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

輸送の時はレンズを取り外してください

プロジェクターを輸送するときは必ずレンズを取り外してください。レンズを取り外したあとのプロジェクターのレンズ取付け穴部へカバープレートを取り付けてから輸送してください。レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズ本体の重みでプロジェクターを破損する原因となります。取り付け、取り外しの詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順」をご覧ください。

設置するときは次のことに注意してください

排気口の温風にご注意ください

排気口からは温風が吹き出します。また、温風の当たる所に次のものを置かないでください。

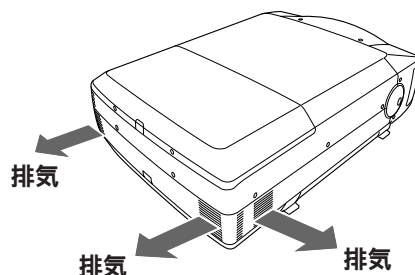
- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手やものを近づけないようにしてください。特に小さいお子さまにはご注意ください。



こんな場所には設置しないでください

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となります。

使用温度範囲

5 ~ 35

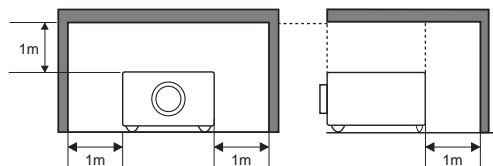
保管温度範囲

- 10 ~ 60

壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

(上方・側面・後面・排気口：各1m以上)



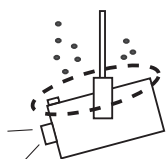
結露にご注意

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除する必要があります。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常的生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約200時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は54ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに



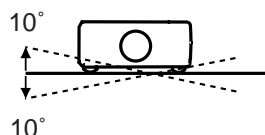
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についてのホコリは掃除機などで取りのぞいてください。



注意

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



傾きは10°以内に

左右への傾きは各10度以内としてください。



横置き禁止

横に立てて設置して投影しないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投影しないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投影しないでください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。

この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら ([LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら) すみやかに新しいランプと交換してください。

万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。目や口に入った場合は、すみやかに医師にご相談ください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

準備

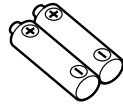
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

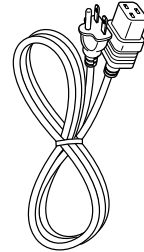
1 リモコン



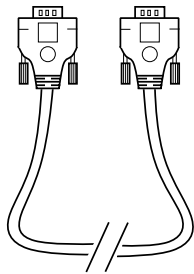
2 リモコン用アルカリ乾電池
(単3形 2本)



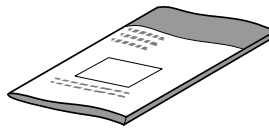
3 電源コード



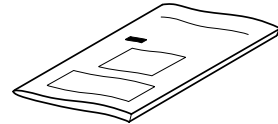
4 コンピュータ接続ケーブル
(D-sub 用)



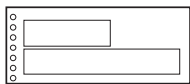
5 取扱説明書 (本書)



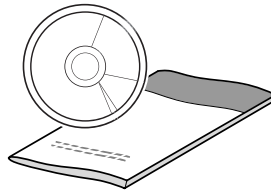
6 レンズ交換・
取付作業手順書



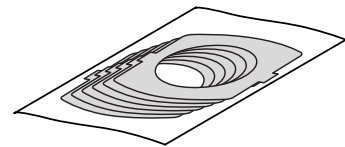
7 保証書



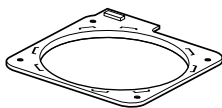
8 Real Color Manager Pro



9 遮光プレート (6種)

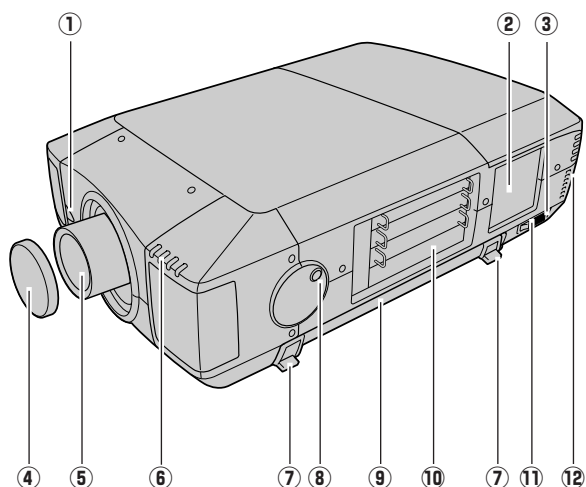


10 レンズ取付金具 1個

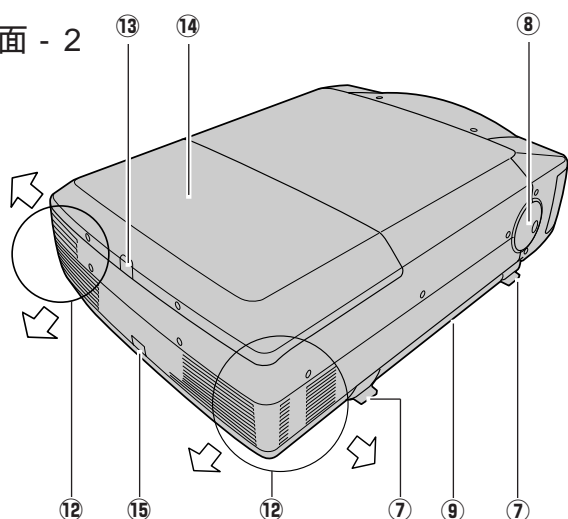


各部の名称

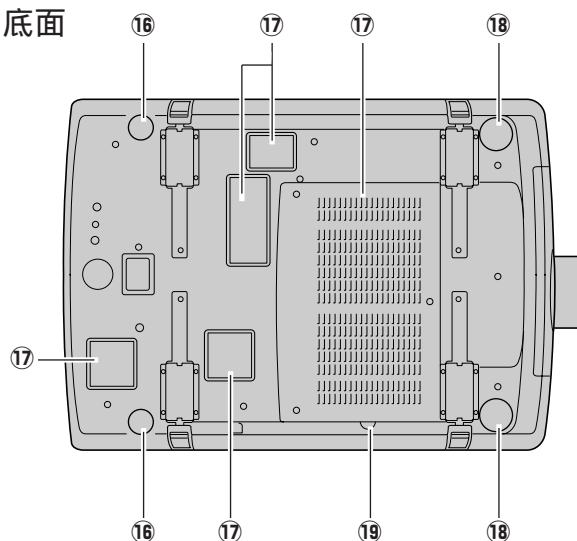
側面 - 1



側面 - 2



底面



⚠ ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

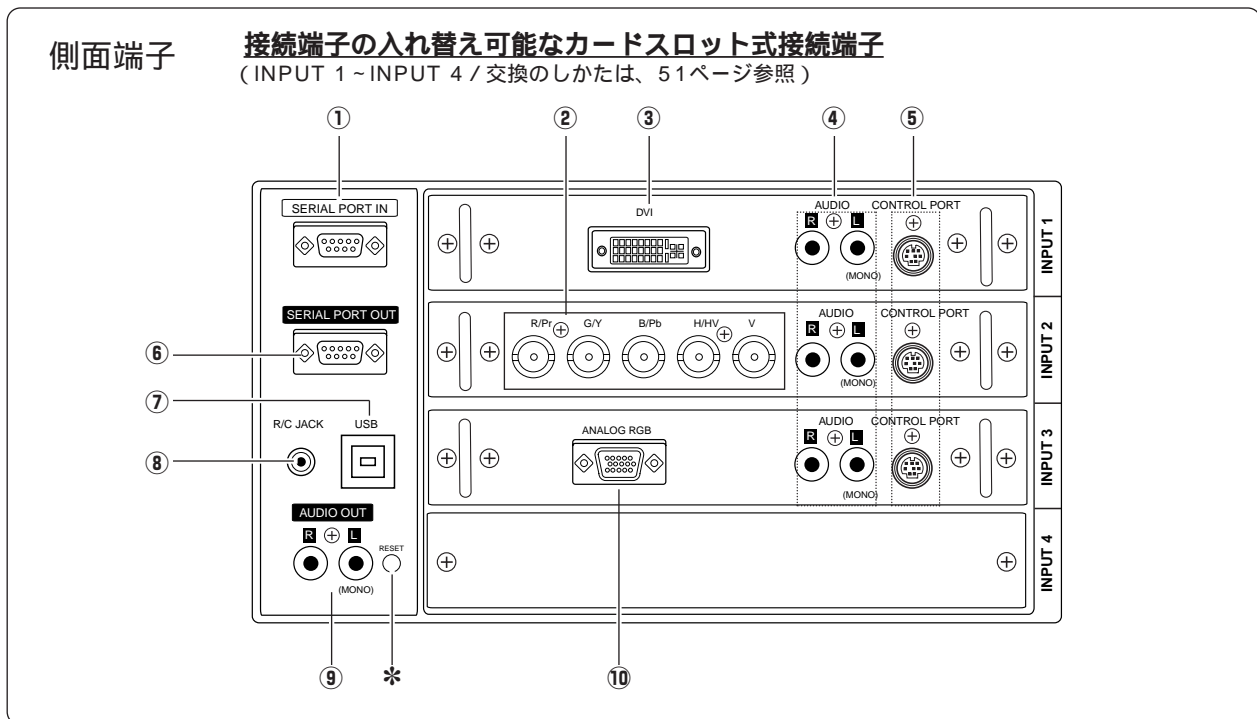
- | | |
|---------------|------------|
| ① リモコン受信部-1 | ☞ 17 |
| ② 操作パネル | ☞ 15 |
| ③ 電源コード接続ソケット | ☞ 23 |
| ④ レンズキャップ * 1 | |
| ⑤ レンズ (別売) | |
| ⑥ インジケータ | ☞ 27、55、56 |
| ⑦ ロックレバー | ☞ 19 |
| ⑧ 傾き調整ハンドル | ☞ 20 |
| ⑨ キャリングハンドル | ☞ 19 |
| ⑩ 側面端子 | ☞ 14 |
| ⑪ 主電源スイッチ | ☞ 24 |
| ⑫ 排気口 * 2 | |
| ⑬ ロックボタン | ☞ 52 |
| ⑭ ランプカバー | ☞ 52 |
| ⑮ リモコン受信部-2 | ☞ 17 |
| ⑯ 後部調整脚 | ☞ 20 |
| ⑰ 吸気口 * 3 | |
| ⑱ 傾き調整脚 | ☞ 20 |
| ⑲ エアフィルター | ☞ 54 |

* 1
⚠ 別売レンズにはレンズキャップが付いています。外すときは、レンズキャップの両端をもって手前に引いてください。ランプ点灯中はレンズキャップをかならず外してください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。ご使用後はレンズをホコリや傷から守るためにレンズキャップをはめてください。

* 2
⚠ スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

* 3
⚠ 内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子



① SERIAL PORT IN (シリアルポート入力端子)

☞ 64ページ

プロジェクターの操作をコンピュータで行なうときに使用します。この端子とコンピュータのシリアルポートをつなぎます。

② R/Pr,G/Y,B/Pb,H/HV,V (ビデオ入力端子およびコンピュータアナログ入力端子)

☞ 21、22ページ

DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力 (Pb,Y,Pr)、または、コンピュータからのアナログ (RGB) 出力と接続します。

③ DVI (DVI入力端子) ☞ 21、22ページ

DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号 (デジタル/アナログ) を接続する端子です。接続には別売のコンピュータケーブル (DVI用) を使います。D-sub出力端子 (アナログ) のコンピュータの接続には市販のコンピュータケーブル (D-sub/DVI用) を使います。またHDCPの信号もこの端子に接続します。

④ AUDIO (音声入力端子) ☞ 21、22ページ

コンピュータやビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は [L (MONO)] 端子へ接続してください。

⑤ CONTROL PORT (コントロールポート端子)

この端子は本機では機能していません。

* リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

⑥ SERIAL PORT OUT (シリアルポート出力端子)

☞ 64ページ

シリアルポート入力端子に入力されている信号をそのまま出力します。1台のコンピュータで2台以上のプロジェクターの操作をするとき、この端子と2台目以降のプロジェクターの [SERIAL PORT IN] 端子をつなぎます。

⑦ USB (USB端子:シリーズB) ☞ 65ページ

サービス・メンテナンスで使用する端子です。

⑧ R/C JACK (ワイヤードリモコン用端子)

☞ 16ページ

この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売の接続コードでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。

⑨ AUDIO OUT (音声出力端子) ☞ 21、22ページ

④に接続されたコンピュータまたはビデオ映像の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。

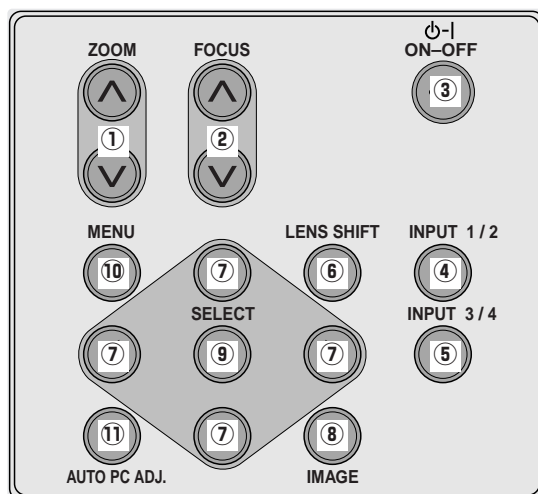
⑩ ANALOG RGB (RGB アナログ入力端子)

☞ 21、64ページ

コンピュータからのアナログ (RGB) 出力と接続します。接続には付属のコンピュータ接続ケーブル (D-sub用) を使用します。

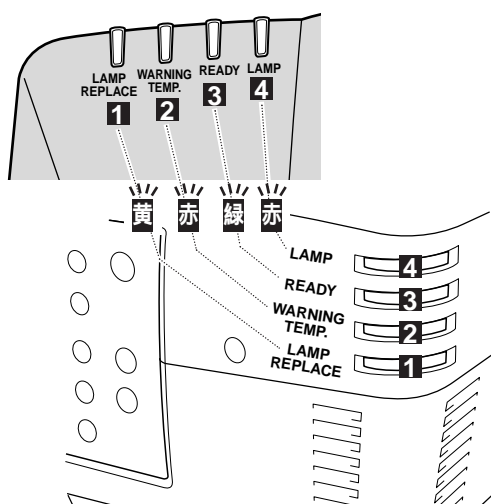
操作パネルとインジケータ

操作パネル
(本体上面)



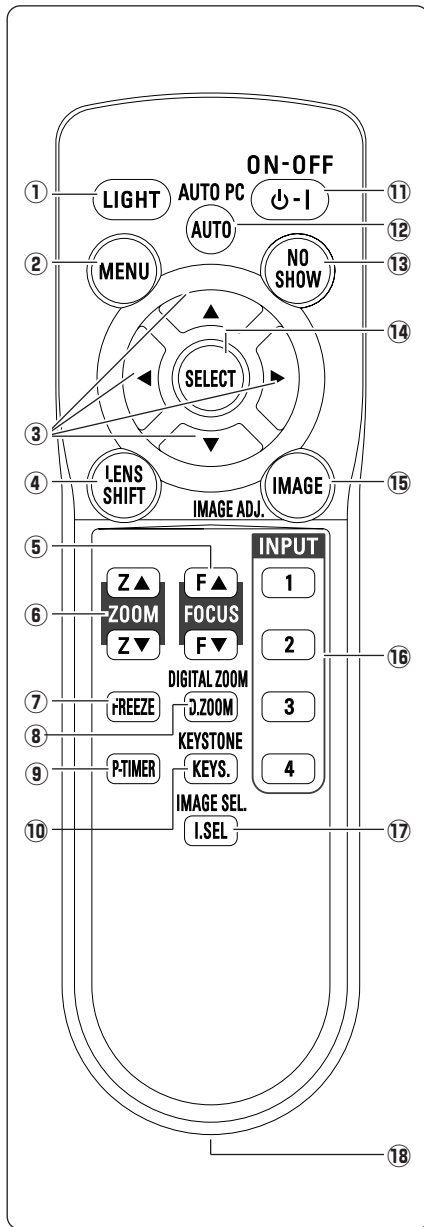
- ① **ZOOM ボタン** ㊦ 28ページ
ズームを調整します。
- ② **FOCUS ボタン** ㊦ 28ページ
フォーカスを調整します。
- ③ **ON-OFF ボタン** ㊦ 24、25ページ
電源を入り・切りします。
- ④ **INPUT 1/2 ボタン** ㊦ 33、42ページ
インプット（入力）を切り換えます。（1または2）
- ⑤ **INPUT ボタン 3/4** ㊦ 42ページ
インプット（入力）を切り換えます。（3または4）
- ⑥ **LENS SHIFT ボタン** ㊦ 28ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。
- ⑦ **ポイント ボタン** ㊦ 31ページ
オンスクリーンメニューのポイントの移動に使用します。
- ⑧ **IMAGE ボタン** ㊦ 38、43ページ
イメージモードを選択します。
- ⑨ **SELECT ボタン** ㊦ 31、41ページ
ポイントの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑩ **MENU ボタン** ㊦ 32ページ
メニューバーを出します。
- ⑪ **AUTO PC ADJ. ボタン** ㊦ 35ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

インジケータ（前面・後面）



- ① **LAMP REPLACE インジケータ** ㊦ 27、56ページ
ランプの交換時期を知らせます。
- ② **WARNING TEMP インジケータ** ㊦ 55、56ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。
- ③ **READY インジケータ** ㊦ 24、25、56ページ
電源を入れる準備ができたとき、またプロジェクターが動作中に緑色に点灯します。
- ④ **LAMP インジケータ** ㊦ 24、25、56ページ
主電源が入っているときに赤く点灯します。

リモコンのボタン



- ① **LIGHT ボタン**
ライト
1回押すと、操作ボタンが約10秒間点灯します。
- ② **MENU ボタン** ☞ 32
メニュー
メニューバーを出します。
- ③ **POINT ボタン** ☞ 31
ポイント
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整に使用します。
- ④ **LENS SHIFT ボタン** ☞ 28
レンズ シフト
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。
- ⑤ **FOCUS ボタン** ☞ 28
フォーカス
フォーカスを調整します。
- ⑥ **ZOOM ボタン** ☞ 28
ズーム
ズームを調整します。
- ⑦ **FREEZE ボタン** ☞ 30
フリーズ
画面を一時的に静止させます。
- ⑧ **D.ZOOM ボタン** ☞ 41
デジタルズーム
デジタルズームの操作をします。
- ⑨ **P-TIMER ボタン** ☞ 30
ピー タイマー
プレゼンテーション (ボタンを押してからの) 経過時間を表示させます。
- ⑩ **KEystone ボタン** ☞ 29
キーストーン
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。
- ⑪ **ON-OFF ボタン** ☞ 24、25
オン オフ
電源を入り・切りします。
- ⑫ **AUTO PC ボタン** ☞ 35
オートピーシー
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。
- ⑬ **NO SHOW ボタン** ☞ 30
ノー ショー
画面を一時的に消します。
- ⑭ **SELECT ボタン** ☞ 31、41
セレクト
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑮ **IMAGE (IMAGE ADJ.) ボタン** ☞ 39、44
イメージ
イメージメニューを呼び出し、調整をします。
- ⑯ **INPUT ボタン** ☞ 33、42
インプット
インプット (入力) を切り換えます。(インプット1~4)
- ⑰ **I.SEL (IMAGE SEL.) ボタン** ☞ 38、43
イメージセレクト
イメージモードを選択します。
- ⑱ **ワイヤードリモコン端子**
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のリモコンコードでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。
リモコンに電池は必要です。

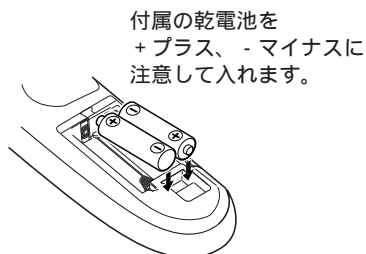
リモコンの準備

電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



2 電池を入れます。



使用乾電池
単3形アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。

- 種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- + 極と - 極の向きを正しく入れる。+ 極と - 極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。
- 液が体についたときは、すみやかに洗い流す。

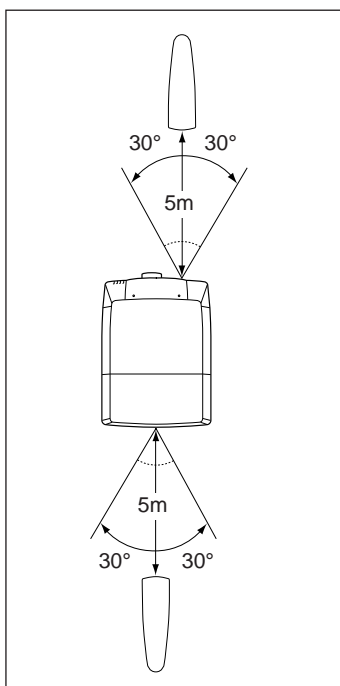


注意



禁止

リモコンで操作できる範囲



ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。

間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

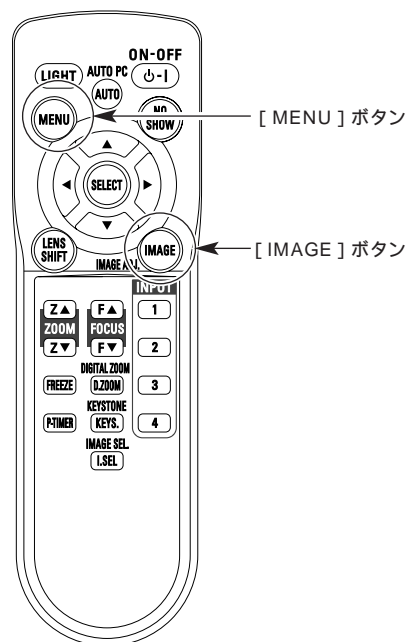
リモコンコードの設定

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード2」～「コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはセッティングメニュー内で行ないます。 48ページ

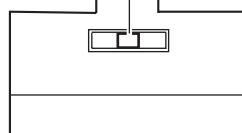
- 1 [MENU] ボタンを押します。
 - 2 [MENU] ボタンを押したまま、[IMAGE] ボタンを押します。[IMAGE] ボタンを押す回数でコードが決まります。
- [MENU] ボタンを押すのをやめたとき、コードが切り換わります。

リモコンコード	イメージボタンを押す回数
コード 1	1
コード 2	2
コード 3	3
コード 4	4
コード 5	5
コード 6	6
コード 7	7
コード 8	8

設定したリモコンコードを初期化したいときは、リモコンの電池カバーを開けると中に切り換えスイッチがあります。そのスイッチを右側に倒すと、設定が初期化されます。その後再度左側に戻します。スイッチが左側 [ON] になっていないと、リモコンは使用できません。工場出荷時は「コード1」に設定されています。



使用可能 ←→ リセット



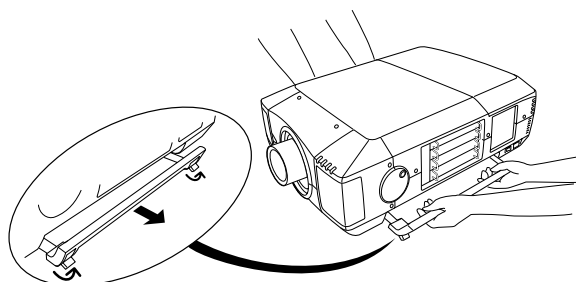
リモコン本体のスイッチ

設置のしかた

プロジェクターの持ち運びかた

- 1 キャリングハンドル両端のロックレバーを引き上げるとロックが外れ、キャリングハンドルが少し出てきます。
- 2 両端のキャリングハンドルをカチッと音がするまでいっぱい引き出し、二人で両側からキャリングハンドルを持って運びます。

キャリングハンドルを収納するときは、両端のロックレバーを引き上げてロックを外してから、収納します。



⚠️ 持ち運ぶときのご注意

安全のためプロジェクターの運搬や移動の際は、必ず二人で両側からキャリングハンドルを持って行ってください。落としたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



注意

レンズを取り付ける

プロジェクターを据え付ける前に、プロジェクター本体にレンズを取り付けます。

はじめにプロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、別冊の説明書をごらんください。（別冊に記載されている各レンズの仕様は、目安とするもので実際のものとは異なる場合があります。レンズの仕様についての詳細は取扱販売店にご相談ください。）

各レンズの取り付けは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」に従って行ってください。レンズの品番によって取り付け手順、取り付け部品が異なります。必ず手順書に従い、レンズの品番に合った取付を行ってください。

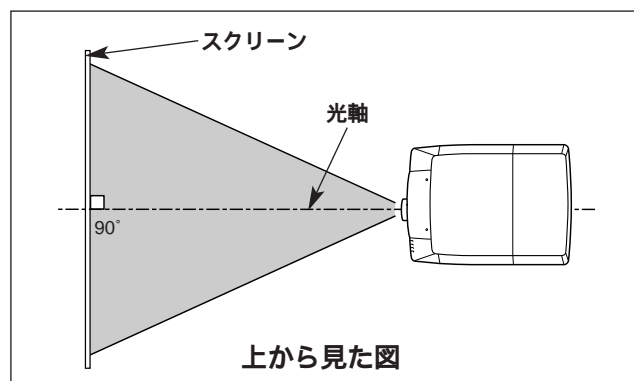


注意

レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護キャップをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。

スクリーンに対して直角に設置する

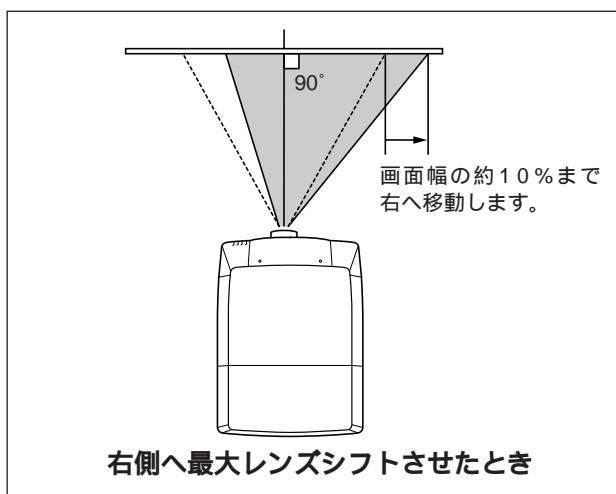
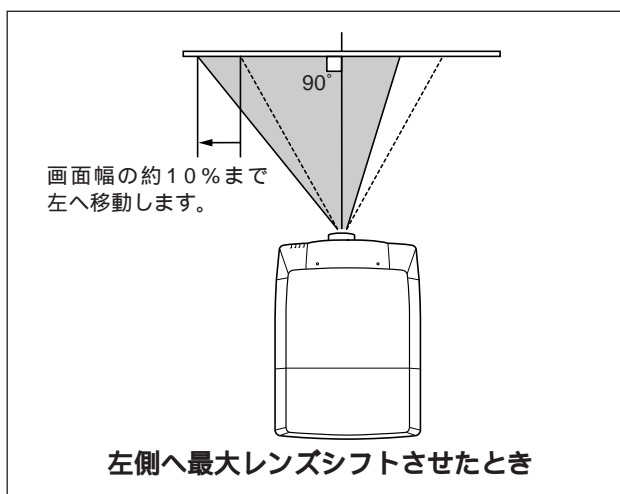
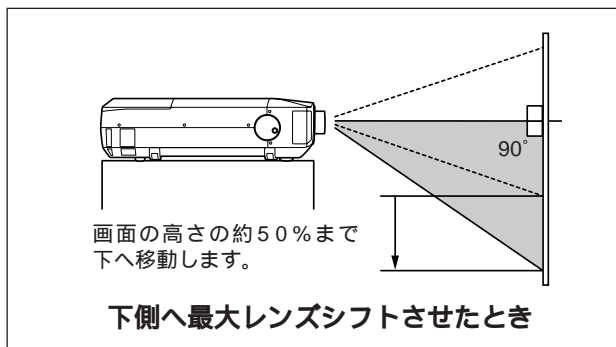
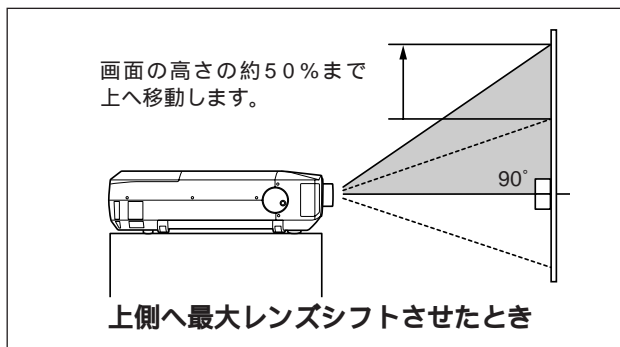
投射したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフト機能で画面の位置を合わせる(例)

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、28ページをごらんください。

下図は別売レンズLNS-S03を装着したときの例です。各別売レンズのシフト量はレンズ交換・取付作業手順書をご覧ください。

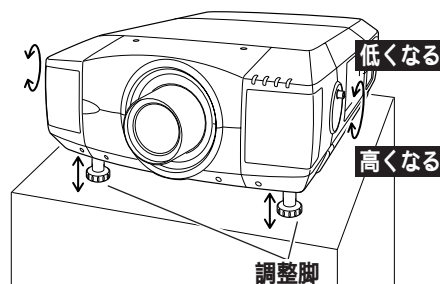


傾き調整ハンドルで画面の傾きを調整する

- 1 傾き調整ハンドルのつまみ部を押してつまみを出します。
- 2 つまみを持ってハンドルを回し、本体前方の調整脚を伸縮させて投映画面の左右の傾きを調整することができます。本体前方の調整脚(2つ)を伸ばすと最大約5.7度まで上ります。
- 3 本体後方の調整脚を回して本体左右のガタツキをなくします。

画面の上下左右の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。
 ☞ 28ページ

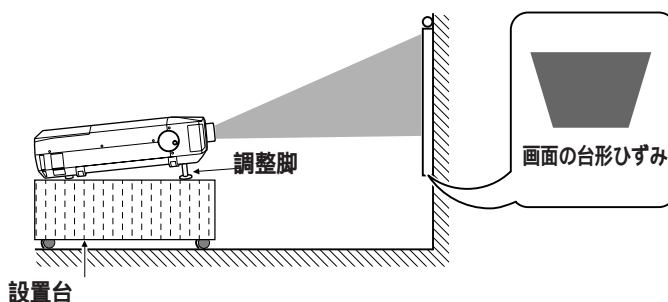
傾き調整ハンドル(左右)



画面の台形ひずみ(あおり)

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞ 29ページ



画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

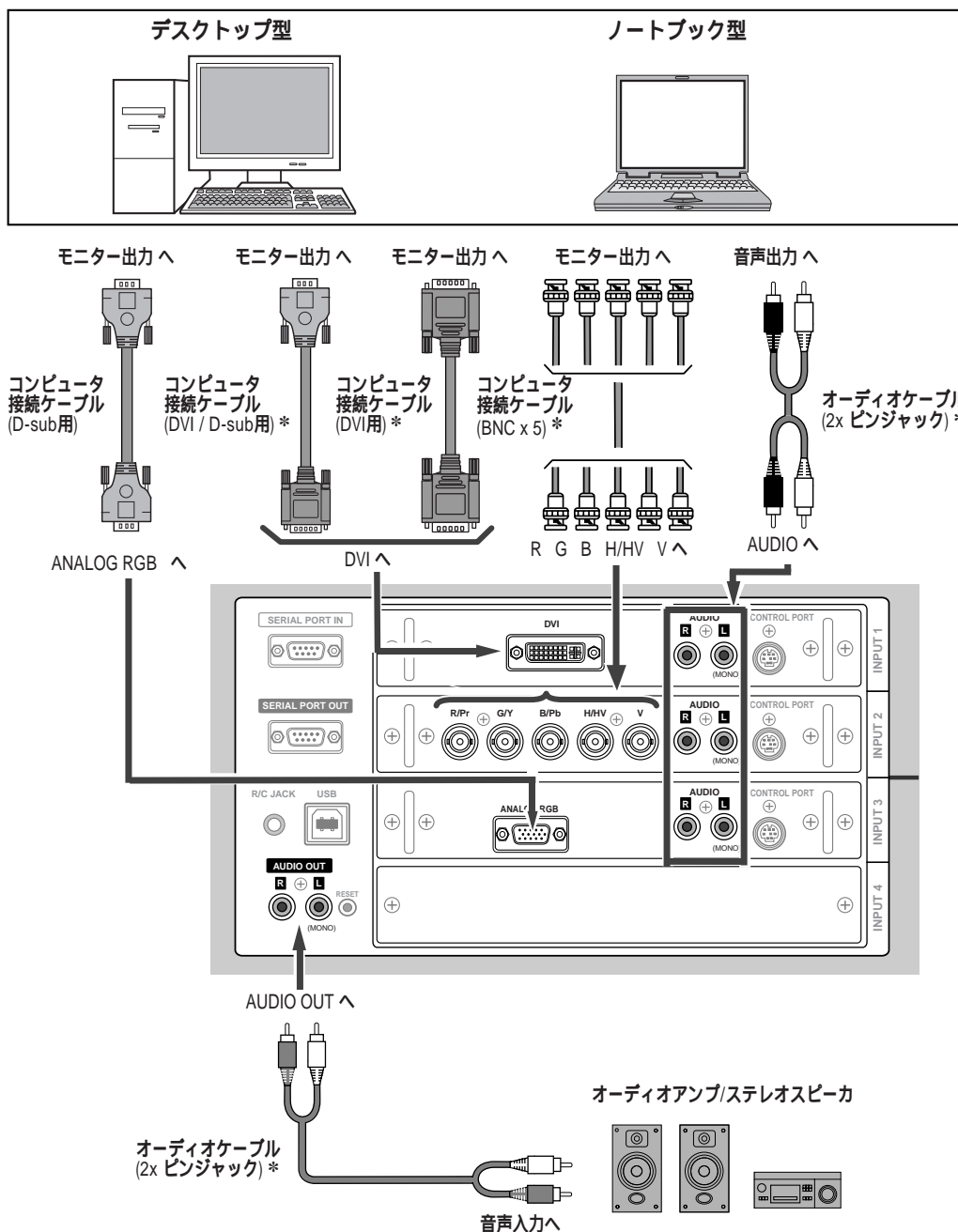
接続の例～コンピュータ

接続に使用するケーブル（* = 市販のケーブルをお使いください。）

- コンピュータ接続ケーブル
（D-sub用、DVI/D-sub用*、BNCx5*）
- オーディオケーブル
（2xピンジャック*）

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

ノートブック型は、キーボードの[Fn]キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



接続するときのご注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

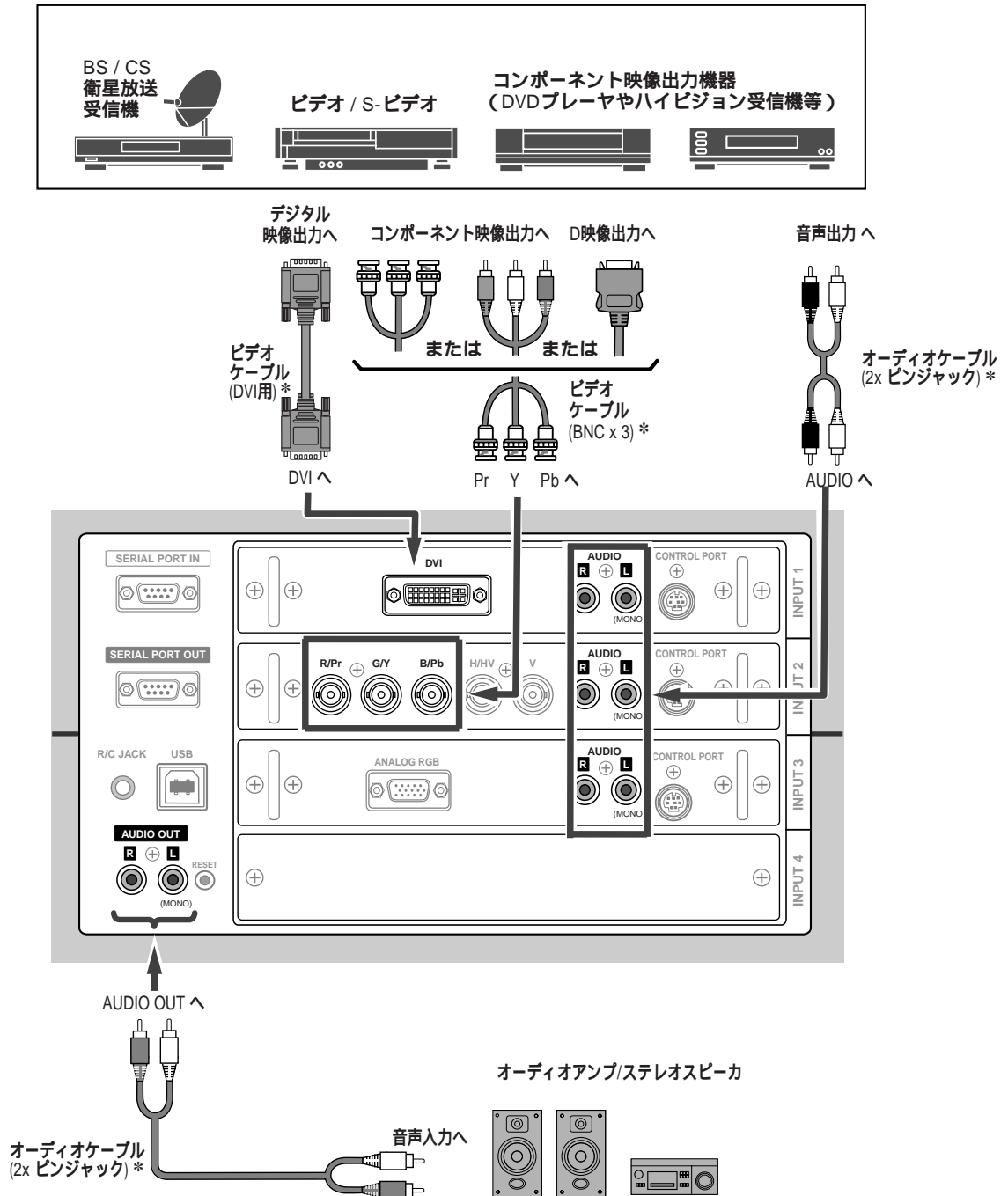
接続の例 ~ ビデオ

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル (DVI用)
- ビデオ ケーブル (BNC x 3)

* 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

- オーディオ ケーブル (2xピンジャック)

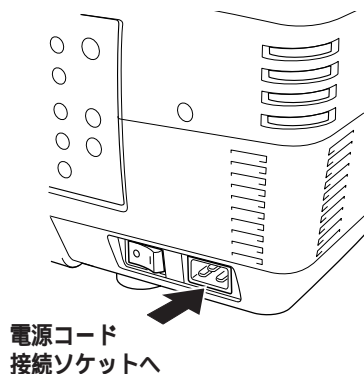


接続するときの注意:
 接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

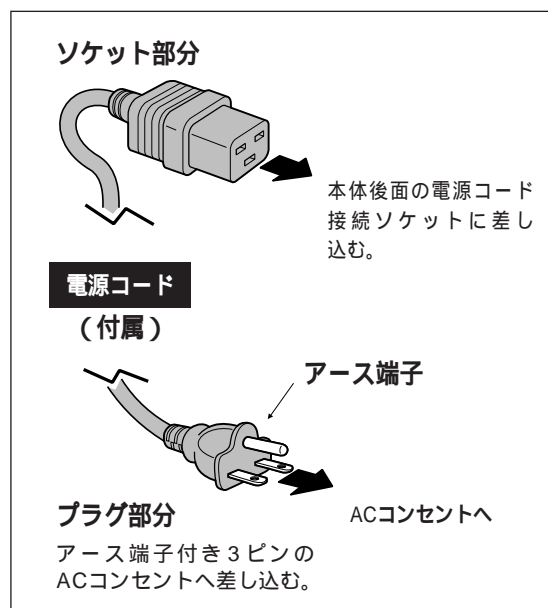
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、14、21、22ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンのACコンセントに差し込みます。



図の形状は実際のものとは異なります。



注意

⚠ 電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

⚠ ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、操作パネルやリモコンの [ON-OFF] ボタンで電源を切っても約20Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグをACコンセントから抜いてください。

⚠ アース端子を接地してください

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子は確実に接地してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

基本の操作

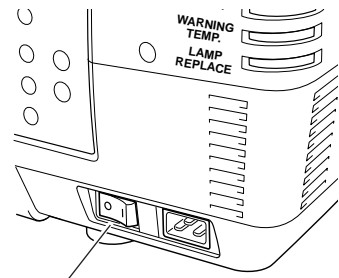
電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、14、21、22ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードを ACコンセントに接続します。☞23ページ
側面の主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にします。赤色の [LAMP] インジケータと緑色の [READY] インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの [ON-OFF] ボタンを押して電源を入れます。*
[LAMP] インジケータが少し暗めの赤点灯にかわります。約20秒間のオープニング画面とそのカウントダウン* が終わると「ランプステータス」(☞26ページ) と「インプットモード」が約5秒間表示され、画像の投映が始まります。

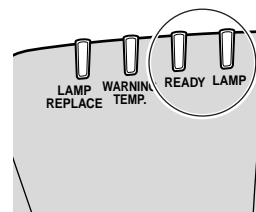
* セッティングメニューで「オンスタート・オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

- * セッティングメニューで、
- ・「オンスクリーン表示・オン」(☞47ページ)、「ロゴ・オフ」(☞47ページ) に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
 - ・「オンスクリーン表示・オフ」(☞47ページ) に設定しているときは、「ロゴ」(☞47ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。



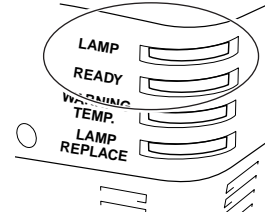
主電源スイッチ
(MAINS SW)

本体前面

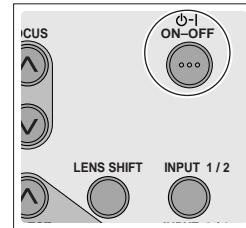


LAMP インジケータ・READY インジケータ

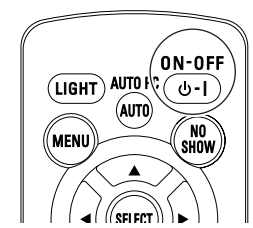
本体後面



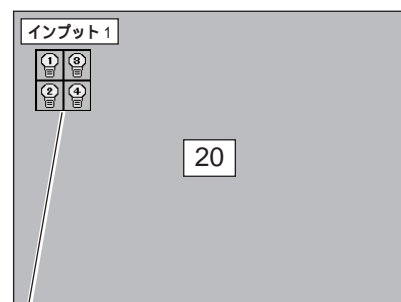
操作パネル



リモコン



ON-OFF ボタン



ランプステータス表示

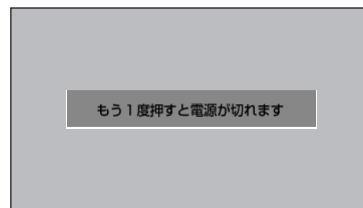
⚠ 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え高温になったランプを冷却しています。この間は [POWER] ボタンを押しても電源は入りません。

90秒経ち、[READY] インジケータが緑に点灯すれば電源を入れることができます。

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの [ON-OFF] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 [ON-OFF] ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の [READY] インジケータが消え、赤色の [LAMP] インジケータが明るく点灯します。
ランプの冷却を始めます。



表示は約4秒間出ます。

🔌 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [ON-OFF] ボタンを押しても電源は入りません。約90秒経ち、緑色の [READY] インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

💡 ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、[ON-OFF] ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

💡 冷却ファンについて

投射している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り替わりますが、故障ではありません。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

工場出荷時は「オン」に設定されています。📄 48ページ

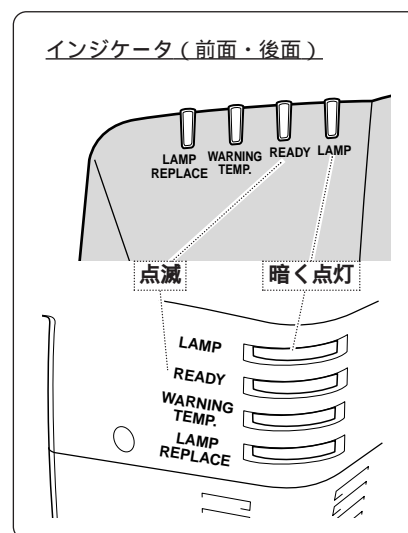
動作について

- 1) プロジェクターの入力信号が中断し、30秒以上プロジェクターが操作されないと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、タイマーが5分からカウントダウンを始めます。
- 2) 5分経過するとランプが消灯し、ファンが回転し続けてランプの冷却を行います。ランプ冷却中は [LAMP] インジケータが暗く点灯し、再点灯はできません。
- 3) ランプの冷却が完了すると [LAMP] インジケータが暗く点灯し、[READY] インジケータが点滅を始めて、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投射されます。
パワーマネージメントモードの間も、プロジェクターのファンは回転しています。

入力信号なし

04 : 50

ランプ消灯までの時間

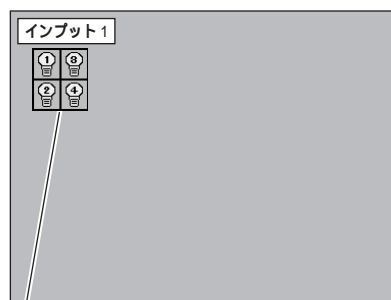


プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合は、24時間に一度電源を切り1時間休ませてください。

休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

ランプマネージメントについて

本機は4個のランプを搭載しています。ランプマネージメントはこれらのランプの点灯状況を監視し、ランプを最良の点灯状態になるよう自動的にコントロールし、ランプの点灯状態を画面の「ランプステータス」表示と、プロジェクター本体の [LAMP REPLACE] インジケータで表示します。☞ 15ページ



ランプステータス表示

ランプステータス表示

電源を入れた後のオープニング画面（カウントダウン表示）が終わった後や、インプット（入力）を切り換えたときに、画面左上に4個のランプ表示が約5秒間出ます。このランプ表示は、ランプの点灯状況を示しています。表示の番号は内部に装着されている各ランプの番号を示しています。各ランプの状況で以下のように表示されます。



ランプが全て黄色で表示されている

4個のランプが正常に点灯しています。



ランプが暗く表示されている

暗く表示されている番号のランプが点灯していません。ランプモードが2灯点灯のときに点灯していないランプが暗く表示されます。☞ 48ページ
(ランプの寿命切れ、故障ではありません。)



ランプにXマークが付き暗く表示されている

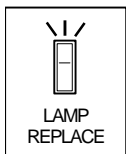
「X」マークのランプが寿命または故障などで点灯していません。一旦電源を切り、しばらくしてから電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても「X」マークが表示されるときは、ランプの交換が必要です。(交換のしかたは52ページ参照)
[LAMP REPLACE] インジケータが点滅します。☞ 次ページ



ランプのいずれかが赤く表示されている

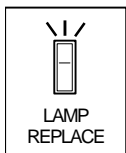
工場で設定した目安のランプ寿命時間になっています。早めにランプ交換することをおすすめします。(交換のしかたは52ページ参照)
[LAMP REPLACE] インジケータが点灯します。☞ 次ページ

LAMP REPLACE インジケータ



LAMP REPLACE インジケータが点灯している

このインジケータが点灯すると、4個のランプの何れかにランプ寿命が近づいているものがあります。該当するランプは、画面のステータス表示でご確認ください。



LAMP REPLACE インジケータが点滅している

このインジケータが点滅しているときは、4個のランプの何れかが寿命または故障により点灯していません。ステータス表示で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。

☞ 52ページ

自動ランプ点灯モード切り換え

プロジェクターが最良の点灯状態となるようにランプマネージメントはランプの点灯モードをランプの状態により自動的に切り換えます。



2灯点灯モード

4個のランプのうちの1灯のみが寿命または故障で不点灯になると、不点灯（ステータス表示で X マーク付き）のランプを含まない対角2個のランプによる2灯点灯に切り換わります。



1灯点灯モード

4個のランプのうちの対角でない2灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に1灯のみの点灯に切り換わります。但し、不点灯（ステータス表示で X マーク付き）の2個のランプが対角の場合、残りの対角の2個のランプによる2灯点灯に切り換わります。

4個のランプが正常に点灯している場合でも、ランプ点灯モードを4灯点灯または2灯点灯へ手動で切り換えることができます。☞ 48ページ

4個のランプが正常で2灯点灯させた場合、4個のランプで積算点灯時間が短い方のランプを含む対角を自動検出し、その対角の2灯のランプを優先して点灯させます。

4個のランプの3灯が不点灯になると、消灯します。

投映画面を調整する

画面の大きさを決める

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- [ZOOM] ボタン上・・・画面が大きくなります。
- [ZOOM] ボタン下・・・画面が小さくなります。



表示は約4秒間出ます。

フォーカスを合わせる

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- [FOCUS] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

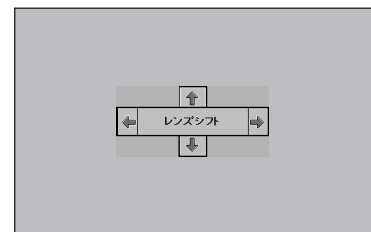


表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- [LENS SHIFT] ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」表示が現れます。
- 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。移動中に上下方向または左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの上下方向または左右方向の標準位置です。



表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で調整した内容は、主電源を切っても記憶されています。
画面位置の詳細については、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」に従ってください。
画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなる場合があります。

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンで操作するとき

リモコンの [KEYSTONE] ボタンの上下で、画面の台形ひずみを補正します。

[KEYSTONE] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。

[KEYSTONE] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。

操作パネルで操作するとき

1 操作パネルの [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを [キーストーン] に合わせ、[SELECT] ボタンで選択すると、「キーストーン調整」モードに入ります。☞ 47ページ
画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間にポイントボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。（-127から127まで）
[ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
[ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。

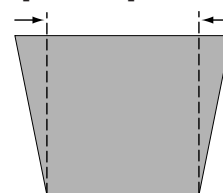
キーストーン調整で補正した内容は、主電源スイッチを切っても記憶されています。

キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

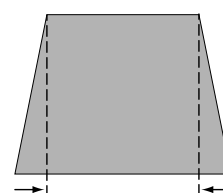
キーストーン 15

表示は約4秒間出ます。
「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
キーストーン調整で補正していないときの調整値は「0」です。

[KEYSTONE] ボタン上、または
[ポイント] ボタン上



[KEYSTONE] ボタン下、または
[ポイント] ボタン下



メモ

💡 お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

💡 ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

画面を一時的に静止させる (FREEZE)

画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

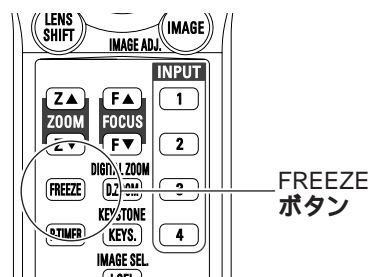
リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

[FREEZE] ボタンは操作パネルにはありません。



こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。



画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの [NO SHOW] ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。

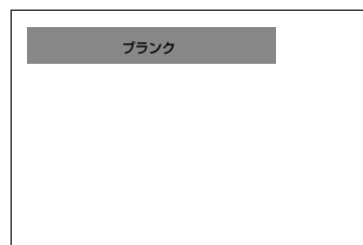
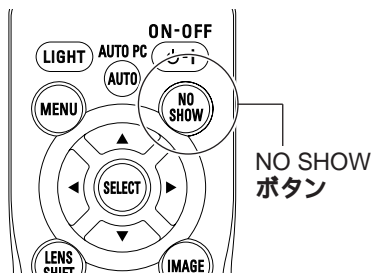
リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

[NO SHOW] ボタンは操作パネルにはありません。



こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。



表示は約4秒間出ます。
「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。

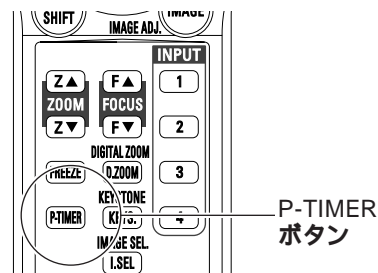
もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと解除されます。

[P-TIMER] ボタンは操作パネルにはありません。



こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。



00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

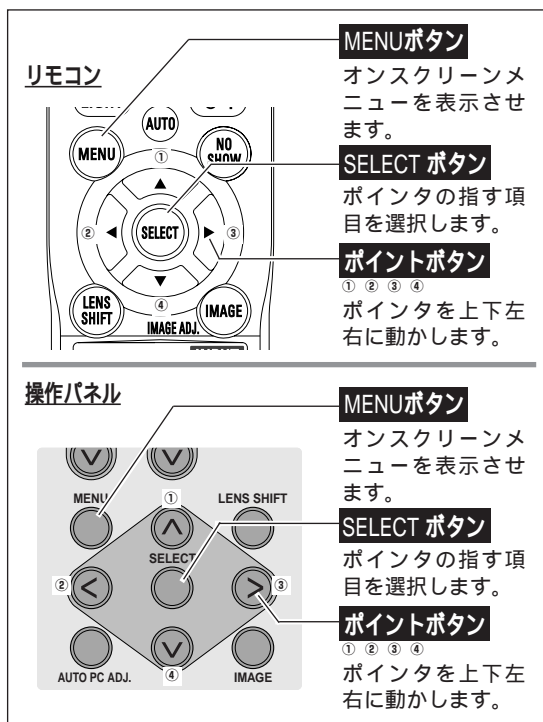
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

① ポインタの動かしかた

ポインタは、[ポイント]ボタンで上下左右に動かします。[ポイント]ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、[SELECT]ボタンを押します。[SELECT]ボタンはリモコンと操作パネルにあります。



基本の操作

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

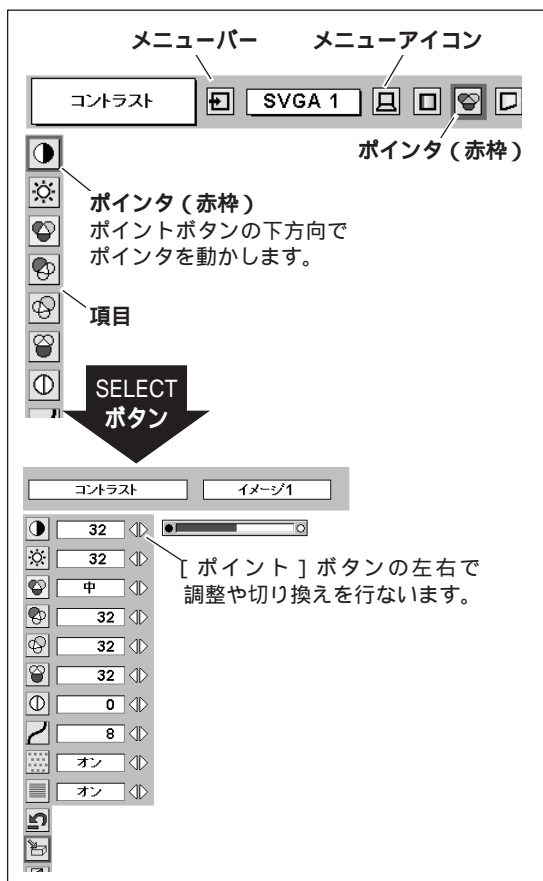
- [MENU]ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ)メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- 赤い枠のポインタを、[ポイント]ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

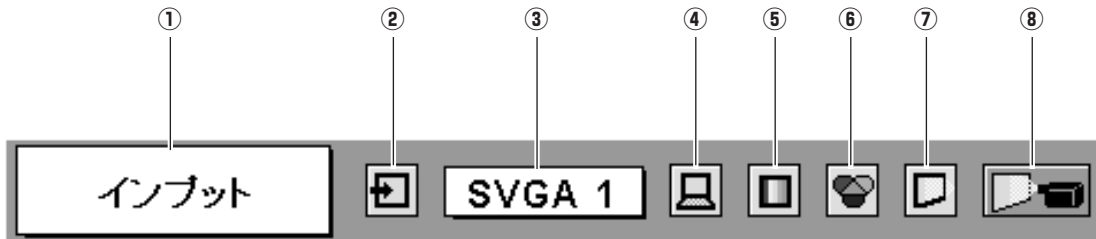
- [ポイント]ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。
- [SELECT]ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- [ポイント]ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。
それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。



これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、“アイコン”を省略する場合があります。

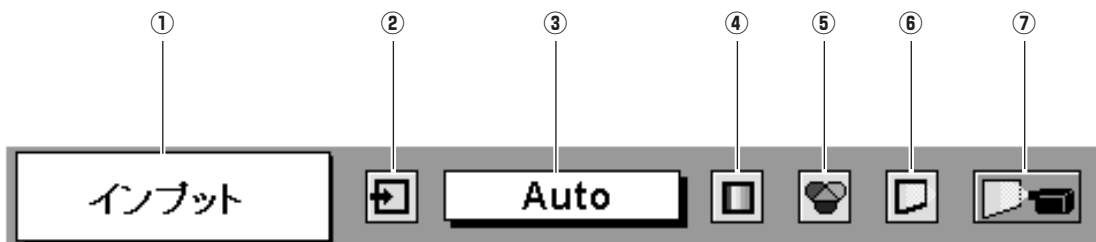
メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



- ① **ガイドボックス**
オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。
- ② **インプットメニュー** ㊦ 33ページ
「インプット（入力）1～4」を切り換えます。
- ③ **システムボックス** ㊦ 34ページ
コンピュータシステムを選択します。ボックス内の表示は選択中のコンピュータシステムです。
- ④ **PC調整メニュー** ㊦ 35～37ページ
お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。
- ⑤ **イメージ選択メニュー** ㊦ 38ページ
コンピュータ画面のイメージモードを選択します。
- ⑥ **イメージ調整メニュー** ㊦ 39、40ページ
コンピュータ画面のイメージをマニュアルで調整します。
- ⑦ **スクリーンメニュー** ㊦ 41ページ
画面の大きさのモード設定をします。
- ⑧ **セッティングメニュー** ㊦ 47～50ページ
プロジェクターの設定およびランプカウンターをリセットするメニューです。

ビデオ画面のメニューバー



- ① **ガイドボックス**
オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。
- ② **インプットメニュー** ㊦ 42ページ
「インプット（入力）1～4」を切り換えます。
- ③ **システムボックス** ㊦ 42、43ページ
カラーシステムまたは走査方式を選択します。
- ④ **イメージ選択メニュー** ㊦ 43ページ
ビデオ画面のイメージモードを選択します。
- ⑤ **イメージ調整メニュー** ㊦ 44、45ページ
ビデオ画面のイメージをマニュアルで調整します。
- ⑥ **スクリーンメニュー** ㊦ 46ページ
画面の大きさのモード設定をします。
- ⑦ **セッティングメニュー** ㊦ 47～50ページ
プロジェクターの設定およびランプカウンターをリセットするメニューです。

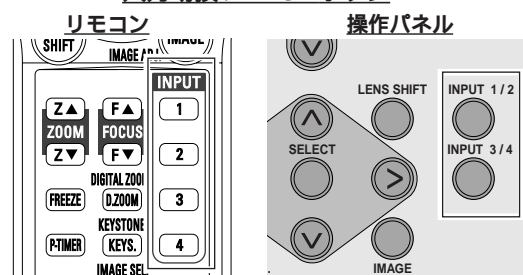
コンピュータ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンの [INPUT (1 ~ 4)] ボタン、または操作パネルの [INPUT 1/2] [INPUT 3/4] ボタンを押して、コンピュータ信号が入力されている入力端子(インプット1、2または3)を選択します。

選択したインプット(入力端子)の画面表示は、そのときのランプステータス表示(24、26ページ)と共に約4秒間出ます。

入力切換 / INPUT ボタン

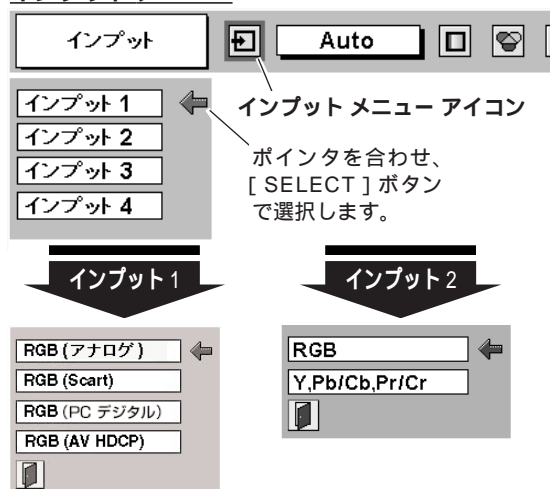


インプットメニューで入力を切り換える

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でコンピュータ信号が入力されている入力端子(インプット 1、2または3)にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「インプット 1」または「インプット 2」を選択すると、「信号形式選択」メニューが現れます。
- 3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。

DVI入力端子選択時にデジタル信号を接続しているときは「RGB (PC デジタル)」を、アナログ信号を接続しているときは「RGB (アナログ)」を選びます。
BNCx5ピン入力端子選択時は「RGB」を選びます。

インプットメニュー



信号形式選択メニュー

ポインタを入力信号の種類へ移動し、[SELECT] ボタンを押して選択します。

インプット1

[ANALOG RGB] 端子にアナログ信号が入力されている場合は「RGB (アナログ)」を、[DVI] 端子にデジタル信号が入力されている場合は「RGB (PC デジタル)」を選択します。

[DVI] 端子にHDCP技術でコピープロテクトされたハイビジョン信号を接続したときは「RGB (AV HDCP)」を選択します。

「RGB (Scart)」は、[DVI] 端子にSCART 21ピン*ビデオ信号(アナログ)が入力されている場合に選択します。

インプット2

「RGB」を選択します。

* SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見ると、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターの [DVI] 端子を専用のケーブルで接続します。[DVI] 端子で再生されるRGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号(アナログ)のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA、WXGA、UXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。☞ 58、59ページ

システムボックスには下記のメッセージが表示されることがあります。

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

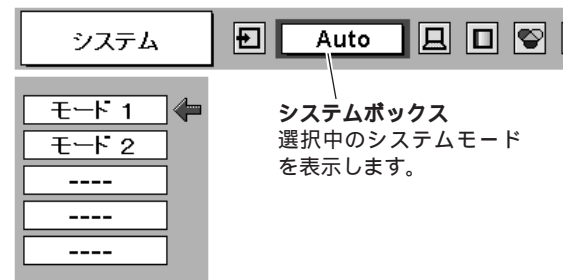
接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。☞ 35～37ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。☞ 14、21ページ

D-VGA . D-SVGA . D-XGA . D-WXGA 1 . D-SXGA 1 . D-UXGA 1 ...など

コンピュータの入力信号がデジタルの場合に表示されます。☞ 59ページ

システムメニュー



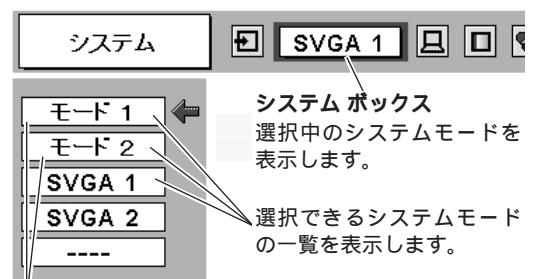
システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。

カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。☞ 35～37ページ

システムメニュー



PC調整メニューで登録した「カスタムモード1～5」を表示します。

コンピュータシステムの調整

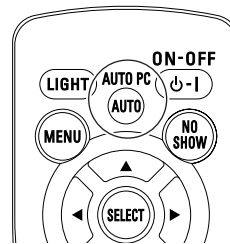
自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押します。

AUTO PC ボタン



メニューから調整する



自動PC調整

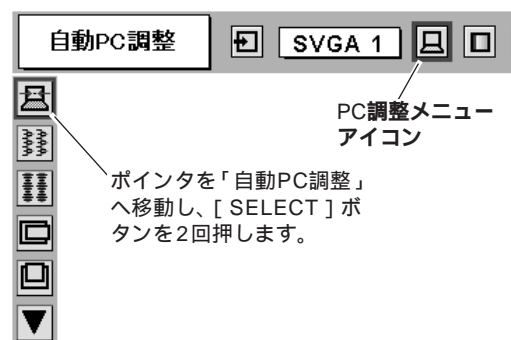
- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「PC調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタをメニュー内に下ろします。「自動PC調整」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを2回押すとPC調整が開始します。

自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合はマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(35~37ページ参照)

自動調整した内容を登録しておく、前述の「システム」メニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、36ページの「マニュアルPC調整の手順3」をごらんください。

コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、システムメニューで480i、525i、480p、575p、720p、1035i、1080i/50、1080i/60のシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらきません。

PC調整メニュー



PC調整メニューアイコン

ポインタを「自動PC調整」へ移動し、[SELECT] ボタンを2回押します。

マニュアルPC調整(「カスタムモード」を登録する)

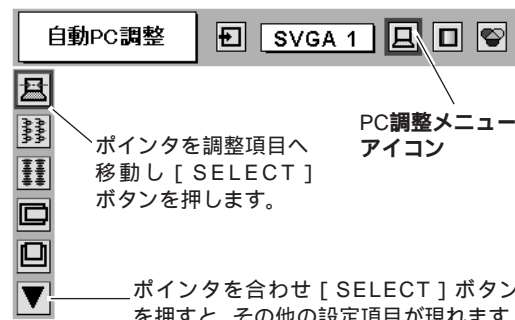
本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「自動PC調整」と表示され、画像が正しく投映されないときは、「PC調整」メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」を登録してください。登録した「カスタムモード」は、「システム」メニューで選択できます。「カスタムモード」は5つまで登録することができます。

入力信号がデジタルのときは「PC調整」メニューは選択できません。

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「PC調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

PC調整メニュー



ポインタを調整項目へ移動し [SELECT] ボタンを押します。

PC調整メニューアイコン


ポインタを合わせ [SELECT] ボタンを押すと、その他の設定項目が現れます。




手順(つづき)

3 リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。


- ① ポインタを「リセット」に合わせ [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル(リセット)し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル(リセット)を中止することができます。
- ③ ポインタが「PC調整」メニューの  に移動します。

データ消去

- ① ポインタを「データ消去」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「PC調整データ消去」メニューが現われます。
- ② 消去したいモード(「モード1から5」のいずれか)にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。さらに、[SELECT] ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。(ポインタは自動的に  をさしています。)

モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

メモリー

- ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「PC調整データ登録」メニューが現われます。
- ② 登録したいモード(「モード1から5」のいずれか)にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。さらに、[SELECT] ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。(ポインタは自動的に  をさしています。)

モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

戻る

メニューを終了します。

PC調整データ消去メニュー



カスタムモード

データ消去 モード 1 データあり

どのモードを消去しますか？

モード 1	データあり	1346	301	39	1024	768
モード 2	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 3	データなし	1343	216	35	1024	768
モード 4	データなし	1343	216	35	1024	768
モード 5	データなし	1343	216	35	1024	768

データ消去アイコン

OK ?

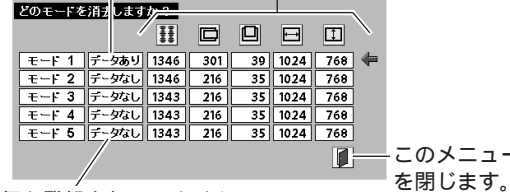
はい

いいえ

*「カスタムモード」の登録状況(データあり/データなし)を表示します。

「調整メニュー」の表示内容

既に「カスタムモード」が登録されています。総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 V を表示します。



どのモードを消去しますか？

モード 1	データあり	1346	301	39	1024	768
モード 2	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 3	データなし	1343	216	35	1024	768
モード 4	データなし	1343	216	35	1024	768
モード 5	データなし	1343	216	35	1024	768

このメニューを閉じます。

何も登録されていません。

PC調整データ登録メニュー



メモリー モード 2 データなし

どこに記憶させますか？

モード 1	データあり	1346	301	39	1024	768
モード 2	データなし	1346	216	35	1024	768
モード 3	データなし	1343	216	35	1024	768
モード 4	データなし	1343	216	35	1024	768
モード 5	データなし	1343	216	35	1024	768

メモリーアイコン

OK ?

はい

いいえ

項目



トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)

コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。



総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。



水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。



垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。



コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプ位置を調整します。



画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。



画面領域 H

水平解像度を調整します。[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

「画面領域 H」は、[ポイント] ボタンで調整後、[SELECT] ボタンを押して調整値を決定する必要があります。



画面領域 V

垂直解像度を調整します。[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

「画面領域 V」は、[ポイント] ボタンで調整後、[SELECT] ボタンを押して調整値を決定する必要があります。



フルスクリーン

- オン・・・アスペクト比横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投射します。
- オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投射します。

システムメニューで480i、575i、480p、575p、720p、1035i、1080i/50、1080i/60のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」「画面領域」「画面領域 H」「画面領域 V」「フルスクリーン」の調整はできません。

トラッキング

トラッキング モード 1 データあり



15

[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。

ポイントを合わせ[SELECT] ボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。

コンピュータ情報



水平周波数	48.5
垂直周波数	60.0

ポイントを合わせ[SELECT] ボタンを押すと、現在接続中のコンピュータの信号を表示します。

画面領域

画面領域 モード 1 データあり



0

1024

768

オフ

640x 480
720x 400
800x 600
1024x 768
1152x 864
1280x 1024
1400x 1050
1600x 1200

ポイントを合わせ[SELECT] ボタンを押すと、解像度選択メニューが現われます。

イメージモードの選択

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

リモコンの [I.SEL (IMAGE SEL)] ボタン、または操作パネルの [IMAGE] ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

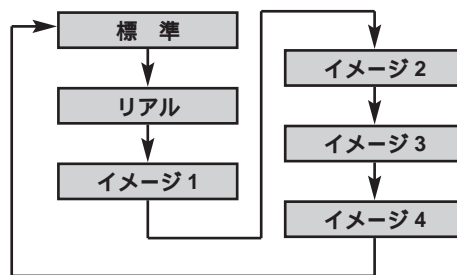
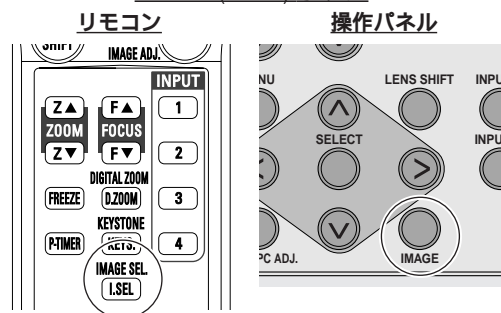


IMAGE (I.SEL) ボタン



ボタンを押すごとに切り替わります。

表示は約4秒間出ます。

「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの「イメージモード」に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

標準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

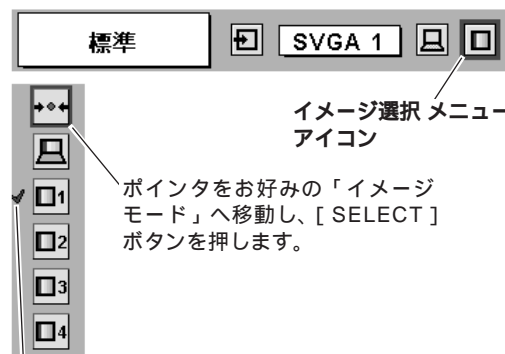
リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ



イメージ選択メニュー



選択中のイメージモード

マニュアルでイメージ調整を行なう


手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポイントを「イメージ調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポイントをメニュー内におろして、調整したい項目に合わせ [SELECT] ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
- 3  **リセット**
 - ① ポインタを「リセット」に合わせ [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
 - ② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル (リセット) し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル (リセット) を中止することができます。
 - ③ ポインタが「イメージ調整」メニューの  に移動します。



メモリー

調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。
- ② 登録したいイメージモードにポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、[SELECT] ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。(ポインタは自動的に  をさしています。)

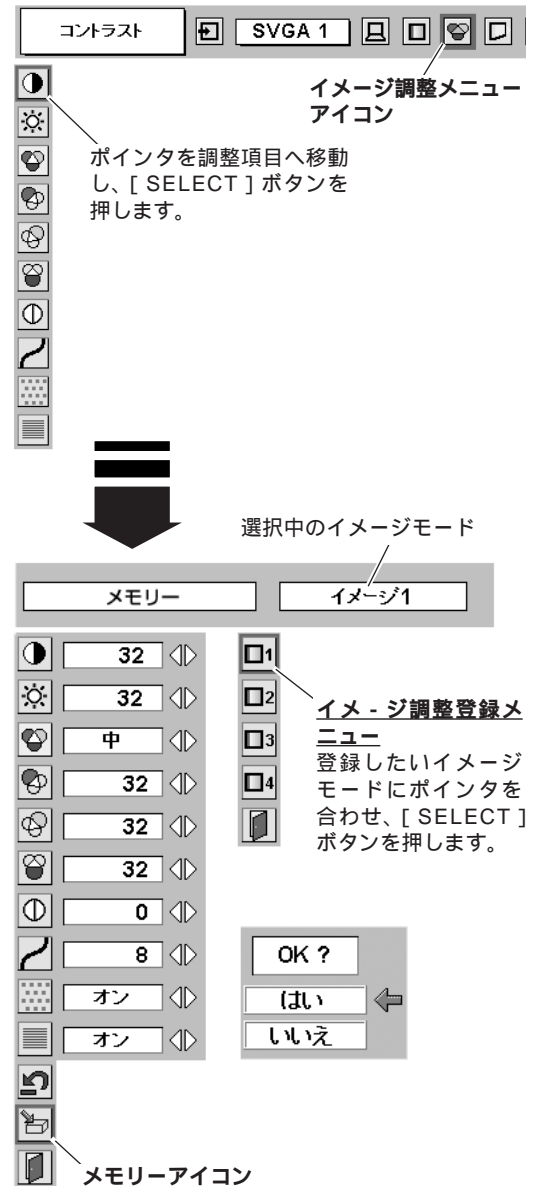
モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。



戻る

メニューを終了します。

イメージ調整メニュー



項目 [ポイント] ボタンの左 (◀) 右 (▶) で調整します。

コントラスト

◀ うすくなる ▶ こくなる (0 ~ 63)

明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0 ~ 63)

色温度

◀ 超低へ ▶ 高へ (超低 - 低 - 中 - 高)
超低 (赤みがかかる) ~ 高 (青みがかかる)

この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
「ホワイトバランス」(赤 / 緑 / 青のどれか1つでも) の調整をすると
「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス(赤/緑/青)

◀ うすくなる ▶ こくなる (各色 0 ~ 63)

画質

◀ やわらかい ▶ くっきり (0 ~ 15)

ガンマ補正

[ポイント] ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでの
コントラストバランスを調整します。(0 ~ 15)

ノイズリダクション

オン・・・ノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき(ノイズ)が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

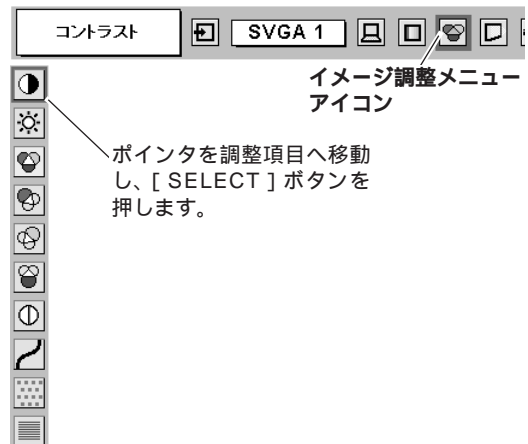
「ノイズリダクション」は、システムモードが480i、575i、1035i、1080i/50、1080i/60、480p、575p、720pのときのみ動作します。

プログレッシブ

◀ オン ▶ オフ

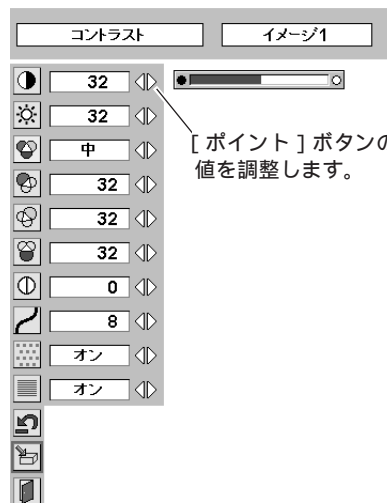
「プログレッシブ」は、システムモードが480i、575i、1035i、1080i/50、1080i/60のときのみ動作します。

イメージ調整メニュー



イメージ調整メニュー
アイコン

ポインタを調整項目へ移動し、[SELECT] ボタンを押します。



[ポイント] ボタンの左右で
値を調整します。

画面サイズを調整する

お好みにより、画面サイズを変えることができます。

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で [ポインタ] を「スクリーン」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタをメニュー内に下ろし、選択したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

項目



ノーマル

画像を有効投映画面^{注)}の高さに合わせて投映します。



リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面^{注)}よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム +」モードに入ります。



ワイド

画像を有効投映画面^{注)}の幅に合わせ、アスペクト比横16：縦9のワイド画面で投映します。



デジタルズーム +

「デジタルズーム +」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すたびに画像が拡大します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面^{注)}よりも大きいときのみはたります。

リモコンで、① [D.ZOOM] ボタンを押し、② [SELECT] ボタンを押しても画像の拡大ができます。



デジタルズーム -

「デジタルズーム -」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom -」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すたびに画像が縮小します。

リモコンで、① [D.ZOOM] ボタンを押し、② [SELECT] ボタンを押しても画像の縮小ができます。

「デジタルズーム」モードから抜けるときは、[ZOOM、SELECT、ポイント] 以外のボタンを押します。

「システム」メニューで「720p、1035i、1080i/50、1080i/60」のシステムモードが選択されているときは、「スクリーン」メニューは機能しません。

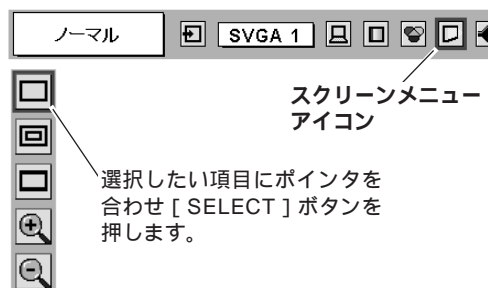
「システム」メニューで「480i、575i、480p、575p、720p、1035i、1080i/50、1080i/60」のシステムモードが選択されているときは、「リアル」「デジタルズーム +/-」は選択できません。

本機はUXGA (1600×1200ドット) を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度がUXGA (1600×1200ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。

XGA (1024×768ドット) 以外の画像データは、有効投映画面 (1024×768ドット) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。

「PC調整」メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

スクリーンメニュー



注) 1024x768 ドット

ビデオ入力

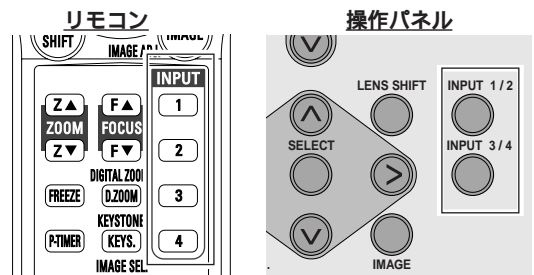
ビデオ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンの [INPUT (1~4)] ボタン、または操作パネルの [INPUT 1/2] ボタンを押して、ビデオ信号が入力されている入力端子(インプット2)を選択します。

選択したインプット(入力端子)の画面表示は、そのときのランプステータス表示(☞24、26ページ)と共に約4秒間出ます。

入力切換 / INPUT ボタン



インプットメニューで入力を切り換える

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でビデオ信号が入力されている入力端子(インプット 2)にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「インプット 2」を選択すると、「信号形式選択」メニューが現われます。
- 3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。

BNCx5ピン入力端子(R/Pr, G/Y, B/Pb)に接続したコンポーネント映像信号を選択するときは「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」を選びます。

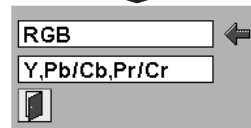
インプットメニュー



インプットメニューアイコン

ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。

インプット 2



信号形式選択メニュー

ポインタを入力信号の種類へ移動し、[SELECT] ボタンを押して選択します。

走査方式を選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「システムボックス」に合わせます。
- 2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、[SELECT] ボタンで選んでください。

R/Pr, G/Y, B/Pb 端子入力選択時

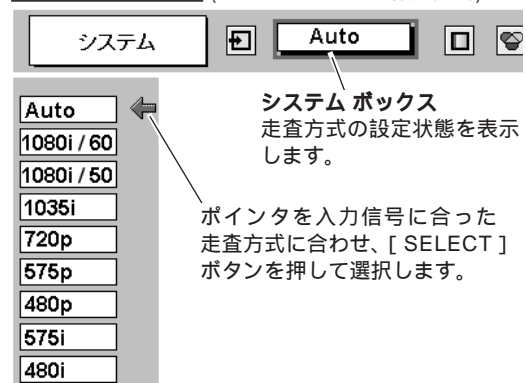
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。1080i/60、1080i/50、1035iの信号を入力しているときは「Auto」に設定しても、走査方式が自動で選択されません。ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押して選んでください。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、「1080i/60、1080i/50、1035i、720p、575p、480p、575i、480i」の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



システムボックス
走査方式の設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合った走査方式に合わせ、[SELECT] ボタンを押して選択します。

イメージモードの選択

「[IMAGE]」ボタンでイメージモードを選択する

リモコンの「I.SEL (IMAGE SEL)」ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

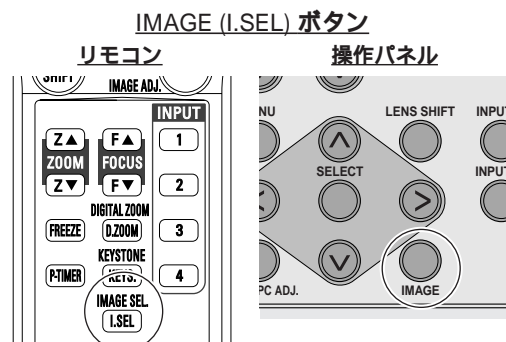
「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るときに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
[次ページ](#)



ボタンを押すごとに切り替わります。
表示は約4秒間出ます。

「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタン下でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの「イメージモード」に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

標準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るときに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
[次ページ](#)

イメージ選択メニュー



選択中のイメージモード

マニュアルでイメージ調整を行なう

手順

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポイントを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタン下でポイントをメニュー内におろして、調整したい項目に合わせ [SELECT] ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

3  **リセット**

① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル(リセット)し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル(リセット)を中止することができます。


③ ポインタが「イメージ調整」メニューの  に移動します。

 **メモリ**

調整した項目は「メモリ」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

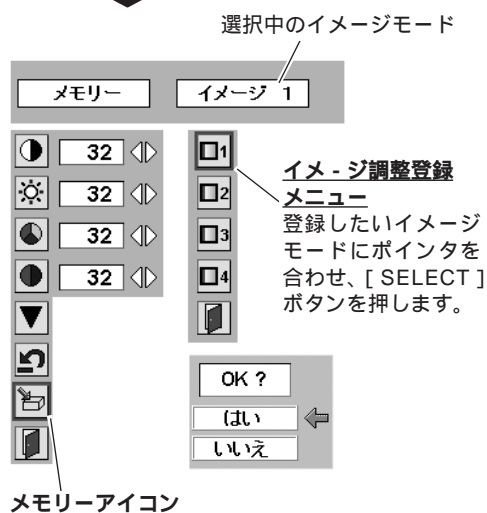
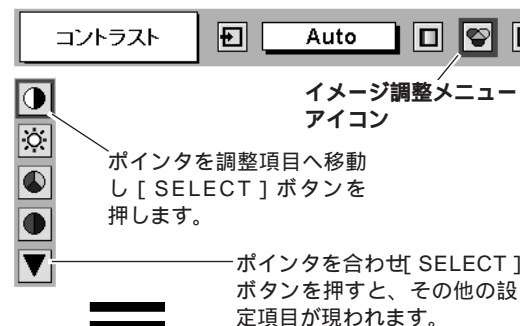
③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、[SELECT] ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。(ポインタは自動的に  をさしています。)

モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

 **戻る**

メニューを終了します。

イメージ調整メニュー



項目 [ポイント] ボタンの左 (◀) 右 (▶) で調整します。

コントラスト

◀ うすくなる ▶ こくなる (0~63)

明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0~63)

色の濃さ

◀ うすくなる ▶ こくなる (0~63)

色合い

◀ 紫がかかる ▶ 緑がかかる (0~63)

カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀ 超低へ ▶ 高へ (超低-低-中-高)

超低 (赤みがかかる) ~ 高 (青みがかかる)

この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。「ホワイトバランス」(赤/緑/青のどれか1つでも)の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス(赤/緑/青)

◀ うすくなる ▶ こくなる (各色0~63)

画質

◀ やわらかい ▶ くっきり (0~15)

ガンマ補正

[ポイント] ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0~15)

ノイズリダクション

オン・・・ノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき(ノイズ)が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

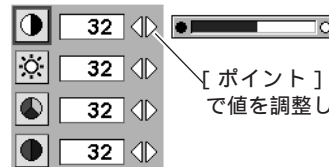
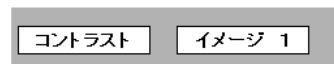
「ノイズリダクション」は、システムモードが480i、575i、1035i、1080i/50、1080i/60、480p、575p、720pのときのみ動作します。

プログレッシブ

◀ オン ▶ オフ

「プログレッシブ」は、システムモードが480i、575i、1035i、1080i/50、1080i/60のときのみ動作します。

イメージ調整メニュー



[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。

ポイントを合わせ[SELECT] ボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。



ポイントを合わせ[SELECT] ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。

[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。

画面サイズを選択する

お好みにより、画面サイズを2種類の中から選択できます。

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で [ポインタ] を「スクリーン」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタをメニュー内に下ろし、選択したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

項目



ノーマル

通常の映像のアスペクト比横4：縦3で投映します。

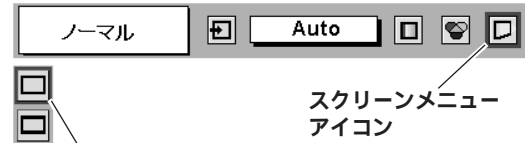


ワイド

DVDプレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比横16：縦9のワイド画面で投映します。

「インプット」メニューで「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」を選択しているときに、1080i/50、1080i/60、1035i、720pの信号（アスペクト比横16：縦9）が入力されたときは、「スクリーン」メニューは機能しません。

スクリーンメニュー



ポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

セッティングメニューについて

「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタをメニュー内におろして、設定する項目に合わせ [SELECT] ボタンを押します。選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。[SELECT] ボタンを押して選択すると、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。[ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。☞ 29ページ



ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。



オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

- オン**・・・すべての画面表示を出します。
- オフ**・・・以下の画面表示以外は出しません。
- ・メニューバー表示 ☞ 32ページ
 - ・電源を切るときの、「もう1度押すと電源が切れます」の表示
 - ・P-TIMER表示 ☞ 30ページ
 - ・自動PC調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
 - ・パワーマネージメントのタイマー表示 ☞ 25、48ページ



ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

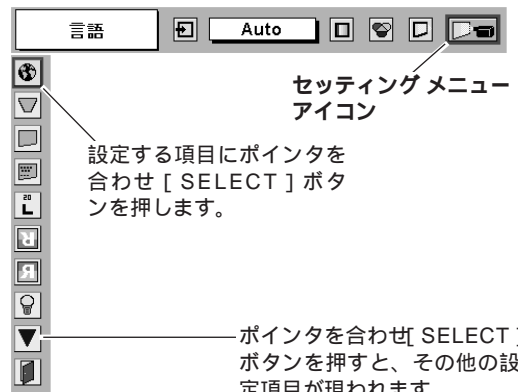
吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

セッティングメニュー



言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。

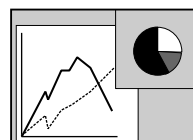


選択したい項目にポインタを合わせ [ポイント] ボタンの左右で設定します。

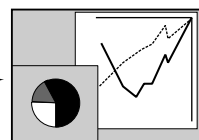
オプションコントロール
ナンバー ☞ 51ページ

天吊り

オフ (通常の画像)

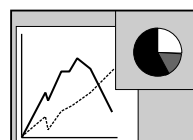


オン (天吊り設定時)

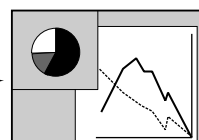


リア投映機能

オフ (通常の画像)



オン (リア投映設定時)





パワーマネージメント

入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が 5分30秒続くと、ランプを消灯する機能です。

- オン**・・・無信号と無操作の状態が 30秒続くと、ランプ画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、この後無信号と無操作が5分間続くとランプが消灯し、パワーマネージメントモードになります。
(パワーマネージメント機能とそのはたらきについて、詳しくは 25ページをごらんください。)

- オフ**・・・パワーマネージメント機能を解除します。

工場出荷時は「オン」に設定されています。
パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER (30ページ)」はリセットされます。



ランプコントロール

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「エコモード」の2段階で切り換え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

- 明るい表示・・・ノーマルモード
- 上部がグレーの表示・・・エコモード

[ポイント] ボタン右で → の順に表示が切り替わります。



ランプモード

本機にはランプが4灯搭載されていますが、プロジェクターを使う場所によってランプを4灯点灯と、2灯点灯に切り換えて使うことができます。あまり明るい画面を必要としない投映や、投映場所が比較的暗い場所では2灯点灯でご使用ください。

- 4灯**・・・4灯のランプを点灯させます。

- 2灯**・・・2灯のランプを点灯させます。

4灯から2灯へ切り換えた場合、ランプが2灯へ切り換えられ、少し暗くなります。2灯から4灯へ切り換えた場合は、ランプ点灯準備のためすぐに明るくならず、約60秒後に4灯点灯の明るさになります。
4灯から2灯へ切り換えた後再び4灯へ切り換える場合や、2灯から4灯へ切り換えた後再び2灯へ切り換える場合、約90秒間はランプ点灯準備のため切り換えができません。



リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード(「コード1」～「コード8」)の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときリモコンコードを使い分けて使用することができます。

工場出荷時は「コード1」に設定されています。

リモコンコードを他のコード(「コード2～コード8」)に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。

プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り換えは、リモコン本体で行ないます。

(18ページ「リモコンコードの設定」)

入力信号なし
4:53



ランプ消灯までの時間



ポインタを合わせ[SELECT] ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。



オンスタート

主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にすると、リモコンや操作パネルの [ON-OFF] ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン・・・主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にすると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源の「入り・切り」を行いません。主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にしても、リモコンまたは操作パネルの [ON-OFF] ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

工場出荷時は「オフ」に設定されています。



電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで [ON-OFF] ボタンを押しても電源は入りません。



ネットワーク

プロジェクターをネットワークで操作するための設定をするときに使います。

この機能は別売のネットワークボードを取り付けているときのみ選択できます。

オン・・・ネットワークを使ってのプロジェクター操作するときに選択します。

オフ・・・ネットワークを使用しないときに選択します。

[SELECT] ボタンを押すと、ネットワークの設定をする画面が現れます。設定を入力後「SET」を選択し [SELECT] ボタンを押すと設定が保存されます。「CANCEL」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「ネットワーク」アイコンに戻ります。

「ネットワーク・オン」のときに「オンスクリーン表示」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、ネットワークのパスワードを設定する画面が現れます。入力後「SET」を選択し [SELECT] ボタンを押すと設定が保存されます。「CANCEL」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「オンスクリーン表示」アイコンに戻ります。



ランプカウンターリセット

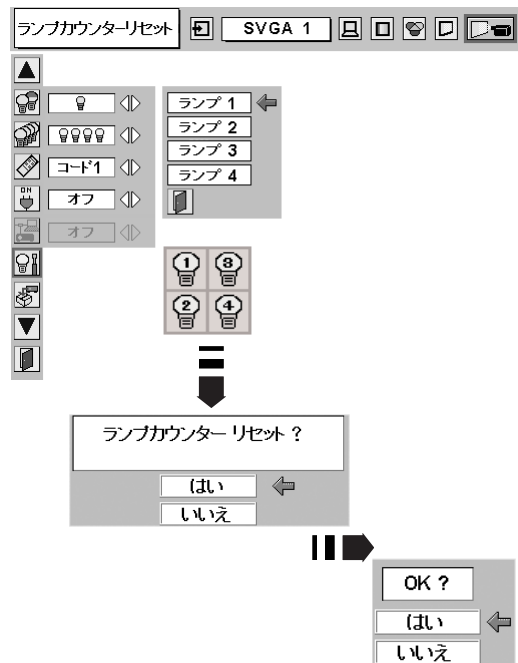
ランプカウンター (実使用时间) をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ(黄)の点灯が消えます。



注意

ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「ランプカウンターリセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 2 ランプステータスと、リセットするランプを選択する項目が現れます。[ポイント] ボタンの上下で交換したランプの番号にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。カウンターがリセットされます。



メニュー
にイ
ンテ
グ



初期設定

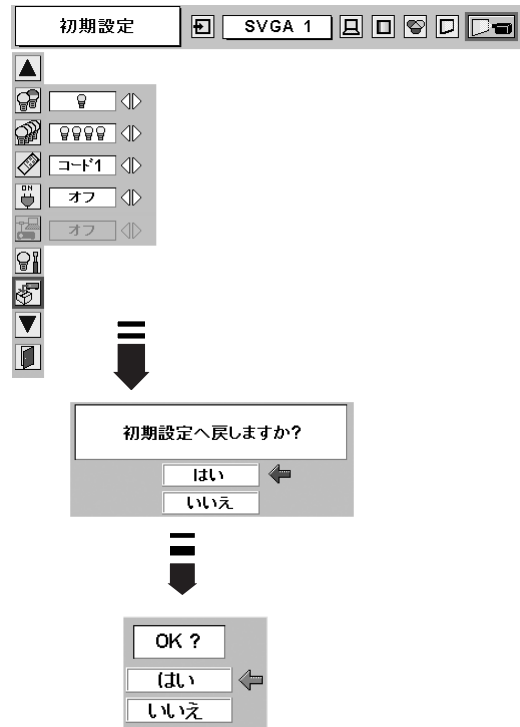
下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。

- ・ランプカウンター（点灯時間）
- ・ネットワーク設定（別売のネットワークボード使用時のみ）
この設定は電源コードを抜いても有効です。
工場出荷時の「ランプモード」は4灯です。2灯でご使用のときは、電源を切ったあと、再度電源を入れたときに4灯で投映されます。

!! ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

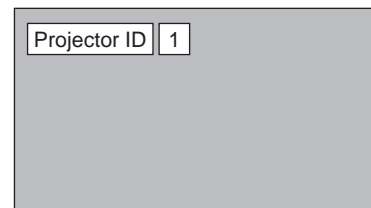
- 1 [ポイント] ボタンの上下で「初期設定」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。



プロジェクターIDの設定

この機能はRS-232Cシリアル通信のプロジェクターIDの設定を行いません。設定方法は以下の手順で行ってください。

- 1 リモコンまたは操作パネルの [AUTO PC ADJ.] ボタンを10秒押しすと、プロジェクターID設定画面が出ます。
- 2 ポイントボタン左右でプロジェクターID (1 - 999) を設定します。
- 3 リモコンまたは操作パネルの [POWER ON-OFF] ボタンを押すとプロジェクターID設定が完了します。
(工場出荷時はProjector ID 1 に設定されています。)



カードスロット式接続端子の交換

カードスロット式接続端子の交換のしかた

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

- 1 交換する接続端子のネジ2本を外します。(図1参照)
- 2 接続端子の両側のハンドルを持ち、接続端子をプロジェクター本体から引き出します。(図1参照)
- 3 接続端子をガイドに沿って差し込みます。接続端子のソケットがプロジェクター本体奥のプラグに正しく接続されるように、奥までしっかりと差し込んでください。(図2参照)
- 4 ネジ2本で接続端子を固定します。(図2参照)

図はBNC x 5ピン接続端子をDVI接続端子に交換する場合を示しています。

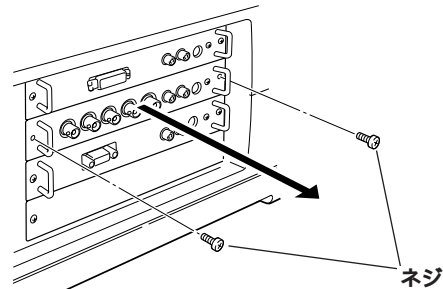


図1. 接続端子の外しかた

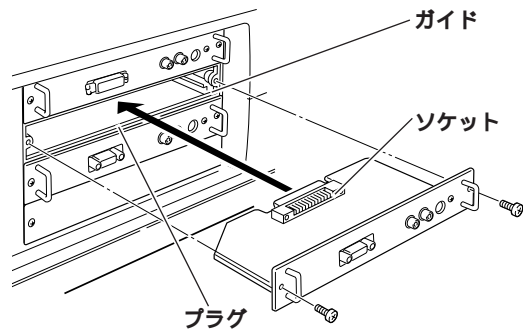


図2. 接続端子の取り付けかた

⚠ 注意

接続端子の取り外し、取り付けはプロジェクターの電源を切って行ってください。電源を入れたままで取り付け、取り外しを行うと、接続端子およびプロジェクター破損の原因となります。

別売インターフェイスボード（接続端子）のご使用について

別売のインターフェイスボードをご使用になるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。販売店にご相談頂くときには、プロジェクターの「オプションコントロールナンバー」もご連絡ください。

「オプションコントロールナンバー」は「セッティング」メニューの「言語」を選択すると現れる、選択画面の下部に表示されています。(右図参照)

関連操作メニュー（47ページ）を参照ください。



オプションコントロールナンバー
Op. cont. No. 05

このナンバーをご連絡ください。

ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

[LAMP REPLACE] インジケータ (黄) の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータ (黄) が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。[LAMP REPLACE] インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、[LAMP REPLACE] インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

ランプの交換のしかた

ランプ交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

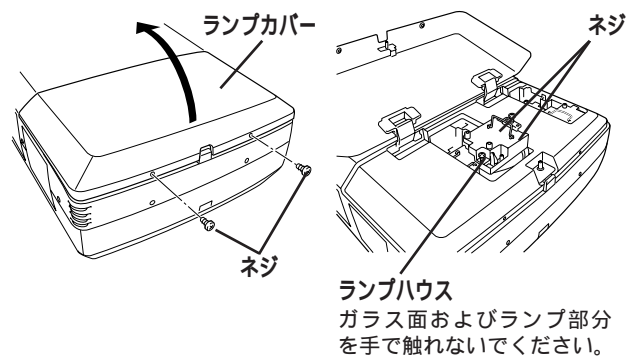
- ・交換ランプの品番：POA-LMP49 (サービス部品コード：610 300 0862)
- ・プロジェクターの品番：LP-XF42



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

- 1 主電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。
- 2 (+) ドライバーで2本のネジを外し、ロックボタンを押してランプカバーを開けます。
- 3 交換を必要とするランプ番号表示のあるランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを閉じ、2本のネジを締めて固定します。



ランプは4個同時に交換することをおすすめします

バランスのとれた明るさおよび色合いを保つため、ランプ交換をするときは、4個のランプを同時に交換することをおすすめします。

⚠ 注意

ランプの一部を取り外した状態でプロジェクターの電源を入れないでください。破損の原因となります。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ (黄) の点灯が消えます。ランプカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンターリセット」を参照ください。☎ 49ページ

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

長い間ご使用にならないとき

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水ですすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

キャビネットをいためないために

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ベンジン・シンナーは使わないで

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

レンズのお手入れ

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアフィルターのお手入れ

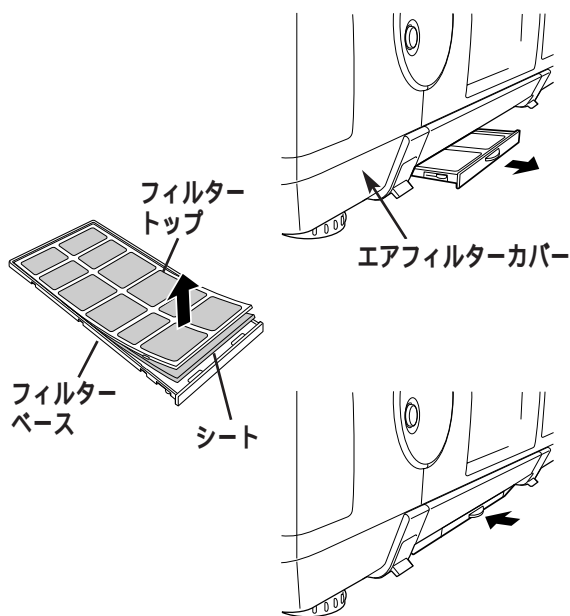
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは、次ページを参照）

エアフィルターはこまめに掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。☞10ページ

掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 エアフィルターを引き出します。(右図参照)
- 3 フィルタートップの中央部のフレームを上引き上げてフィルタートップとシートをフィルターベースから外します。
- 4 フィルタートップ、フィルターベース、シート、フィルター取り付け部周辺などのホコリを、ブラシなどで取ります。
- 5 シートとフィルタートップをフィルターベースに取り付け、プロジェクター本体に差し込みます。



掃除の目安

一般的に約200時間ご使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

ご使用の環境や、ご使用时间によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

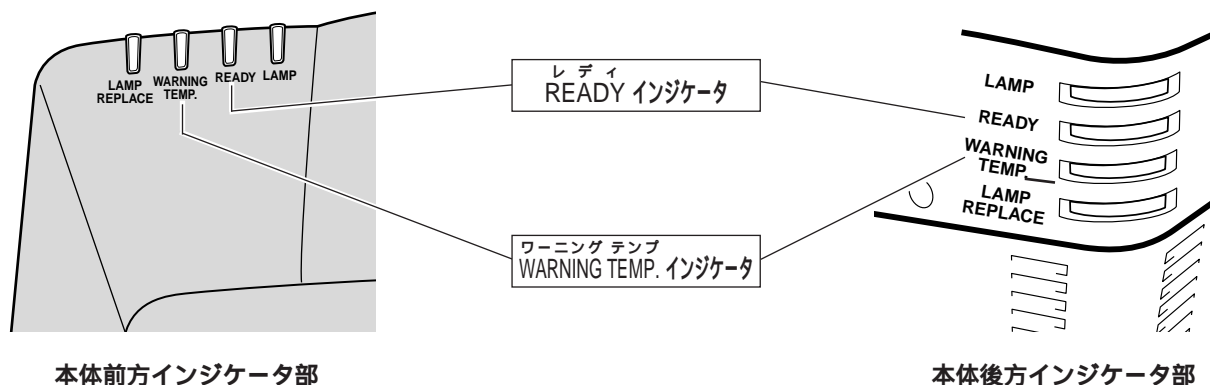
シートの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。(水洗いはしないでください) それでも汚れが取れないときや、シートが古くなったときには新しいものと交換してください。取り替え用シート(別売)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用 エアフィルターシート の品番	:	910 301 4815
取り替え用 エアフィルタートップ の品番	:	910 287 2638
取り替え用 エアフィルターベース	:	910 285 9035

⚠ お掃除の際にご注意ください

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



本体前方インジケータ部

本体後方インジケータ部

WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると [WARNING TEMP.] インジケータ (赤) が点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、[READY] インジケータも消えます。([WARNING TEMP.] インジケータは点滅を続けます。) 温度が下がると [READY] インジケータが点灯し、リモコンおよび本体の [ON-OFF] ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えます。[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。エアフィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5 ～ 35)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、[READY] インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING TEMP.] インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ [WARNING TEMP.] と [READY] インジケータが点滅を始めます。このときリモコンおよび本体の [ON-OFF] ボタンでの電源入り・切りは出来なくなります。

このような時は、一旦主電源スイッチを切るか電源コードをコンセントから抜いて電源を入れ直し、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ [WARNING TEMP.] と [READY] インジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP 赤	READY 緑	WARNING TEMP. 赤	LAMP REPLACE 黄	
				主電源スイッチが切れているか、電源コードがコンセントから抜けています。
			*	プロジェクターはスタンバイ状態です。[ON-OFF] ボタンを押すと動作します。
			*	プロジェクターは正常に動作しています。
			*	プロジェクターの内部温度が高くなっています。[ON-OFF] ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、[READY] インジケータが点灯に変わります。[ON-OFF] ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。([WARNING] インジケータは点滅したままです。) このようなときはエアフィルターの点検などを行なってください。
			*	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。([WARNING] インジケータは点滅したままです) [ON-OFF] ボタンを押すと、[WARNING] インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
			*	ランプの冷却中です。インジケータが赤の点灯に変わるまで、[ON-OFF] ボタンを押しても始動することはできません。
			*	プロジェクターの内部に異常が検出されました。[ON-OFF] ボタンを押しても電源は入りません。一度主電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
			*	パワーマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

…点灯：赤
 …点滅：赤
 …暗点灯：赤
 …点灯：緑
 …点滅：緑
 …消灯

* [LAMP REPLACE] インジケータ (黄) が点灯するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。☞ 49ページ
 [LAMP REPLACE] インジケータが点灯するまでの時間は、ご使用状況 (ランプモードの状態) によって異なります。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	<p>電源コードは接続されていますか。 主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。 [ON-OFF] ボタンを再度押してみてください。 [READY] インジケータ<緑>が消えているときは、[ON-OFF] ボタンを押しても電源が入りません。 [WARNING TEMP.] インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[READY] インジケータ<緑>が消えているときは、[ON-OFF] ボタンを押しても電源が入りません。温度が下がるまでお待ち下さい。 [WARNING TEMP.] インジケータ<赤>及び [READY] インジケータ<緑>が点滅しているときは内部の故障が考えられます。</p>	23 23 55、56 55、56
画像が映らない	<p>コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 電源を入れたあと約20秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。 レンズキャップをとりましたか。 コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類と走査方式が合っていますか。 使用温度範囲 (5 ~ 35) からはずれていませんか。 「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンまたは操作パネルのボタン (どれでも) を押してみてください。 コンピューターが外部出力に切り換わっていますか。出力の切り換えはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。</p>	14、21、22 33、42 30
音が出ない	<p>本機にはスピーカはありません。外部のスピーカなどと [AUDIO OUT] は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。</p>	21、22
画像が不鮮明	<p>フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなる場合があります。 レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。</p>	28 * 20、29
画面が暗い	<p>「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。 「ランプコントロール」が正しく選択されていますか。 「エコモード」は暗くなります。 ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくとつれじょじょに暗くなる性質があります。</p>	40、45 38、43 48 52
映像が左右 (上下) 逆さまに映っている	<p>「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。</p>	47
表示されないメニューがある	<p>「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。</p>	47
リモコンで操作できない	<p>電池は正しく入っていますか。+ - を正しく入れてください。 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。 本体の主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。主電源スイッチを入れてください。 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 リモコンのスイッチが、「リセット」側 (右側) になっていませんか。「ON」側 (左側) にして操作してください。 リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ワイヤードリモコンケーブルが本体またはリモコンに接続されていませんか。いづれかにケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとして機能しません。</p>	17 17 23 23 17 18 18

* 別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」を参照ください。

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(**「カスタムモード 1 ~ 5」は含みません。**)
 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
480i	(Interlace)	15.734	60.00	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
575i	(Interlace)	15.625	50.00	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
480p	(Progressive)	31.47	59.88	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
575p	(Progressive)	31.25	50.00	SXGA 13	1280 x 1024 (Interlace)	50.00	86.00
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 14	1280 x 1024 (Interlace)	50.00	94.00
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 18	1280 x 1024 (Interlace)	46.43	86.70
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA+ 1	1400 x 1050	63.97	60.19
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA+ 2	1400 x 1050	65.35	60.12
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA+ 3	1400 x 1050	65.12	59.90
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	MAC	1280 x 960	75.00	75.08
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	WXGA 1	1366 x 768	48.36	60.00
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	WXGA 2	1360 x 768	47.70	60.00
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	WXGA 3	1376 x 768	48.36	60.00
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	WXGA 4	1360 x 768	56.16	72.00
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	WXGA 8	1280 x 768	68.633	684.837
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	WXGA 9	1280 x 800	56.16	49.600
XGA 9	1024 x 768 (Interlace)	36.00	87.17	UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07	UXGA 2	1600 x 1200	81.25	65.00
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70	UXGA 3	1600 x 1200	87.50	70.00
XGA 12	1024 x 768 (Interlace)	35.522	86.96	UXGA 4	1600 x 1200	93.75	75.00
XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20	720p	(Progressive)	45.00	60.00
XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30	720p	(Progressive)	37.50	50.00
XGA15	1024 x 768	58.03	72.00	1035i	(Interlace)	33.75	60.00
MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08	1080i/60	(Interlace)	33.75	60.00
MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06	1080i/50	(Interlace)	28.125	50.00

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.47	60.050	D-WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893
D-480p	720 X 480 (Progressive)	31.47	60.020	D-WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050
D-575p	720 X 575 (Progressive)	31.25	58.069	D-SXGA 1	1280 x 1024	63.980	60.020
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.19	D-SXGA 2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-SXGA+ 1	1400 x 1050	63.970	60.19
D-WXGA 1	1366 x 768	48.36	60.00	D-UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00
D-WXGA 2	1360 x 768	47.70	50.00	D-720p	1280 X 720 (Progressive)	45.00	60.00
D-WXGA 3	1376 x 768	48.36	60.00	D-720p	1280 X 720 (Progressive)	37.50	50.00
D-WXGA 4	1360 x 768	56.16	60.00	D-1035i	1920 X 1035 (Interlace)	33.75	60.00
D-WXGA 5	1366 x 768	47.776	50.00	D-1080i/60	1920 X 1080 (Interlace)	33.75	60.00
D-WXGA 6	1280 x 768	60.289	50.00	D-1080i/50	1920 X 1080 (Interlace)	28.125	50.00

仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

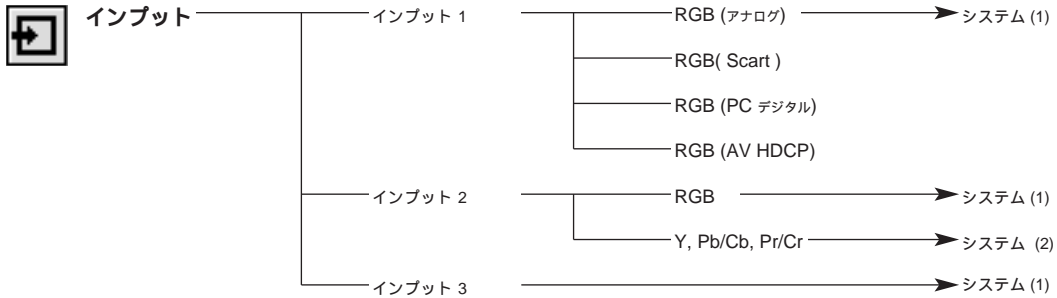
SXGA、WXGA、UXGA、Mac21、Mac、720p、1035i、1080i/60、1080i/50の信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ドットクロックが230MHz以上のコンピュータの信号には対応していません。

信号の種類・ご使用になるケーブルの長さや状態によっては、適切な映像にならない場合があります。

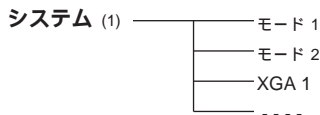
メニュー内容一覧

コンピュータ / ビデオ インプット

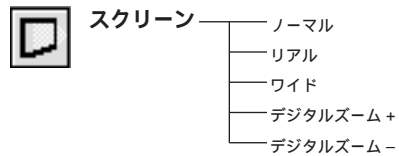
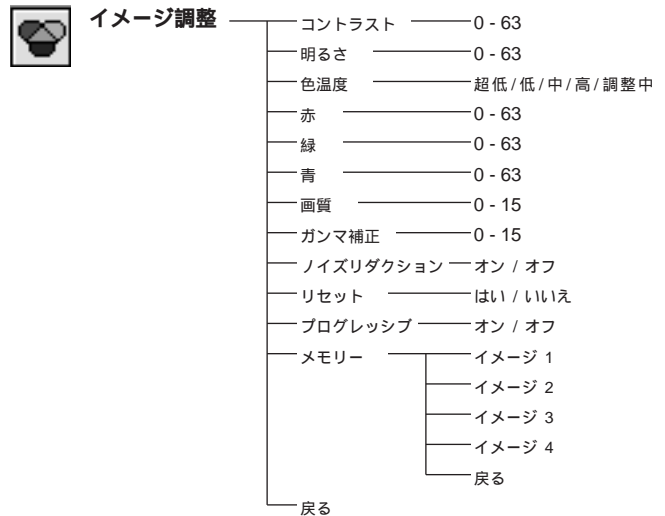
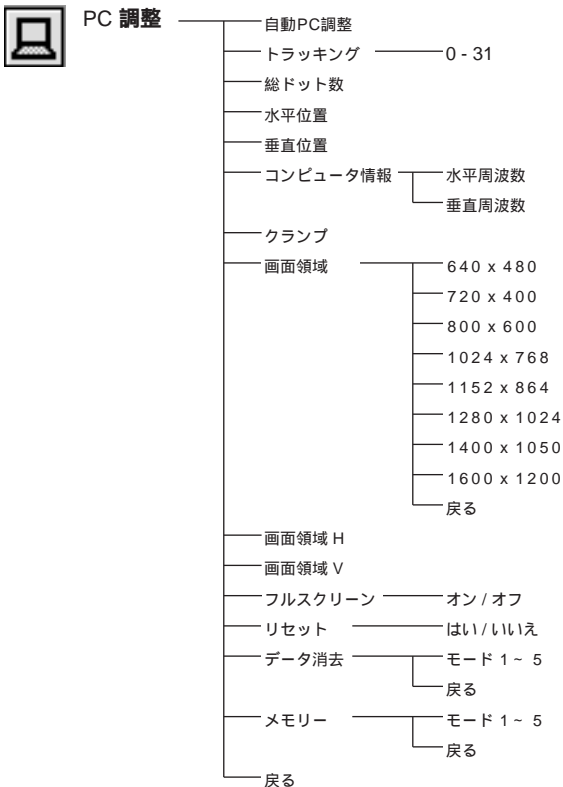
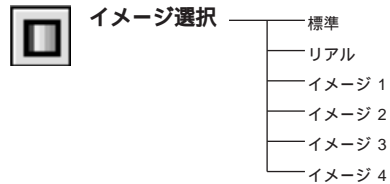


コンピュータ入力

SVGA 1



* 表示される内容は入力された信号によって異なります。



ビデオ入力

Auto

- システム (2)
- Auto
 - 1080i/50
 - 1080i/60
 - 1035i
 - 720p
 - 575p
 - 480p
 - 575i
 - 480i



イメージ選択

- 標準
- シネマ
- イメージ 1
- イメージ 2
- イメージ 3
- イメージ 4



イメージ調整

- コントラスト 0 - 63
- 明るさ 0 - 63
- 色の濃さ 0 - 63
- 色合い 0 - 63
- 色温度 超低 / 低 / 中 / 高 / 調整中
- 赤 0 - 63
- 緑 0 - 63
- 青 0 - 63
- 画質 0 - 15
- ガンマ補正 0 - 15
- ノイズリダクション オン / オフ
- プログレッシブ オン / オフ
- リセット はい / いいえ
- メモリー
 - イメージ 1
 - イメージ 2
 - イメージ 3
 - イメージ 4
 - 戻る
- 戻る



スクリーン

- ノーマル
- ワイド

セッティング



セッティング

- 言語
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - スウェーデン語
 - ロシア語
 - 中国語
 - 韓国語
 - 日本語
 - 戻る
- キーストーン
- ブルーバック オン / オフ
- オンスクリーン表示 オン / オフ
- ロゴ オン / オフ
- 天吊り オン / オフ
- リア投映 オン / オフ
- パワーマネジメント オン / オフ
- ランプコントロール ノーマル / エコ
- ランプモード 4灯 / 2灯
- リモコンコード
 - コード 1 ~ コード 8
 - 戻る
- オンスタート オン / オフ
- ネットワーク オン / オフ
- ランプカウンターリセット
 - LAMP 1
 - LAMP 2
 - LAMP 3
 - LAMP 4
 - 戻る
- 初期設定 はい / いいえ
- 戻る

仕 様

プロジェクター本体

型 名	LP-XF42
種 類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ：1.8型 x 3 アスペクト比 横4：縦3 駆動方式：ポリシリコンTFTアクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ 画素数：786,432画素 (1,024 x 768) x 3枚 総画素数 2,359,296 画素
投映レンズ	別売
光 源	250W UHPランプ x 4灯
ズーム/フォーカス調整	電動式 (電動式レンズの場合)
入出力 コンピュータ	DVI入力 (1系統) : DVI-I コネクター デジタル : TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB信号 : 0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75 水平・垂直同期 : TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期 : 0.3Vp-p、負極性インピーダンス75) アナログRGB入力 (2系統) : BNC x 5ピン、ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号 : 0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75 水平・垂直同期 : TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期 : 0.3Vp-p、負極性インピーダンス75)
ビ デ オ	ビデオ入力 (1系統) Pr : BNC コネクター、0.7Vp-p、インピーダンス75 Y : BNC コネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス75 Pb : BNC コネクター、0.7Vp-p、インピーダンス75
音 声	音声入力 (3系統) : ピンジャック (ステレオ)、142mVrms、 インピーダンス47K 以下 (左モノ：右)
制御入出力、他	音声モニター出力 (コンピュータ / ビデオ兼用) : ピンジャック (ステレオ)、 インピーダンス1K 以下 USB端子 : USBコネクター、シリーズ B、シングルポート シリアルポート (入力1系統/出力1系統) : D-sub 9ピン x 2 ワイヤードリモコン端子 : ミニジャック
走査周波数	水平 15K ~ 120KHz、垂直 50 ~ 120Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電 源	AC200V 50/60Hz
消費電力	1,500W (待機中消費電力 20W)
本体寸法	幅 581 x 高さ 252 x 奥行 783 mm
質 量	36.5 Kg

各プロジェクターによって色味が異なります。

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせで投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映することができます。HDCPの規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-D端子での再生はできなくなる場合があります。

液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V 単3形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅50×高さ27×奥行168mm
質量	129g (電池を含む)

付属品

- リモコン 1個
- リモコン用 アルカリ乾電池 2本
- 電源コード 1本
- コンピュータ接続ケーブル (D-sub用) 1本
- 取扱説明書
- 保証書
- レンズ交換・取付作業手順書
- 遮光プレート 6種
- レンズ取付金具 1個
- Real Color Manager Pro 1セット

別売品

<別売インターフェイスボード>

- Network ボード 品番 : POA-MD13NET2
- Dual SDI ボード 品番 : POA-MD17SDID
- DVI ボード 品番 : POA-MD11DVI
- ミニ D-sub ボード 品番 : POA-MD04VGA
- 5 BNC ボード 品番 : POA-MD16VD1
- Video/Y, C & S-video ボード 品番 : POA-MD03VD2A
- Warp & Blending ボード 品番 : POA-MD21WARP
- コンピュータ接続ケーブル (DVI用) 品番 : 945 043 3703
- リモコン接続コード 品番 : 945 069 2155

レンズ交換について

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

販売技術員・サービス技術員の方へ

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行ってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

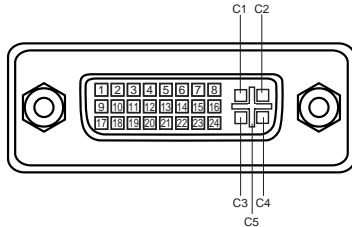
このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

DVI (コンピュータ DVI-I 入力端子)

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力とアナログ (RGB) 出力の両方が接続できる端子です。接続には、コンピュータ接続ケーブル (DVI用) をご使用ください。

DVI 29ピン



アナログ コンタクト部

C1	アナログ R ビデオ出力
C2	アナログ G ビデオ出力
C3	アナログ B ビデオ出力
C4	アナログ水平同期
C5	アナログ RGB グランド

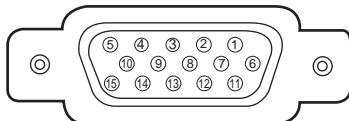
デジタル コンタクト部

1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	アナログ垂直同期	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック-

ANALOG RGB (コンピュータ アナログ入力端子)

コンピュータからのアナログ (RGB) 出力を接続する端子です。接続には、コンピュータ接続ケーブル (D-sub用) をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

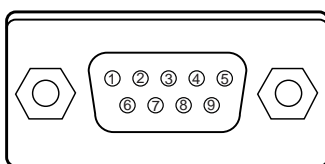


1	R	9	+5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

SERIAL PORT IN / SERIAL PORT OUT (シリアルポート入出力端子)

接続したコンピュータからプロジェクターの制御を行なうときにつなぐ [SERIAL PORT IN] 端子と、2台目以降のプロジェクターも同じコンピュータから制御を行なうときに、2台目以降のプロジェクターへも同じ制御信号を出力するための [SERIAL PORT OUT] 端子です。

D-sub 9ピン

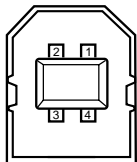


1	---	6	---
2	R x D	7	---
3	T x D	8	---
4	---	9	---
5	GND		

USB(ユニバーサルシリアルバス端子)

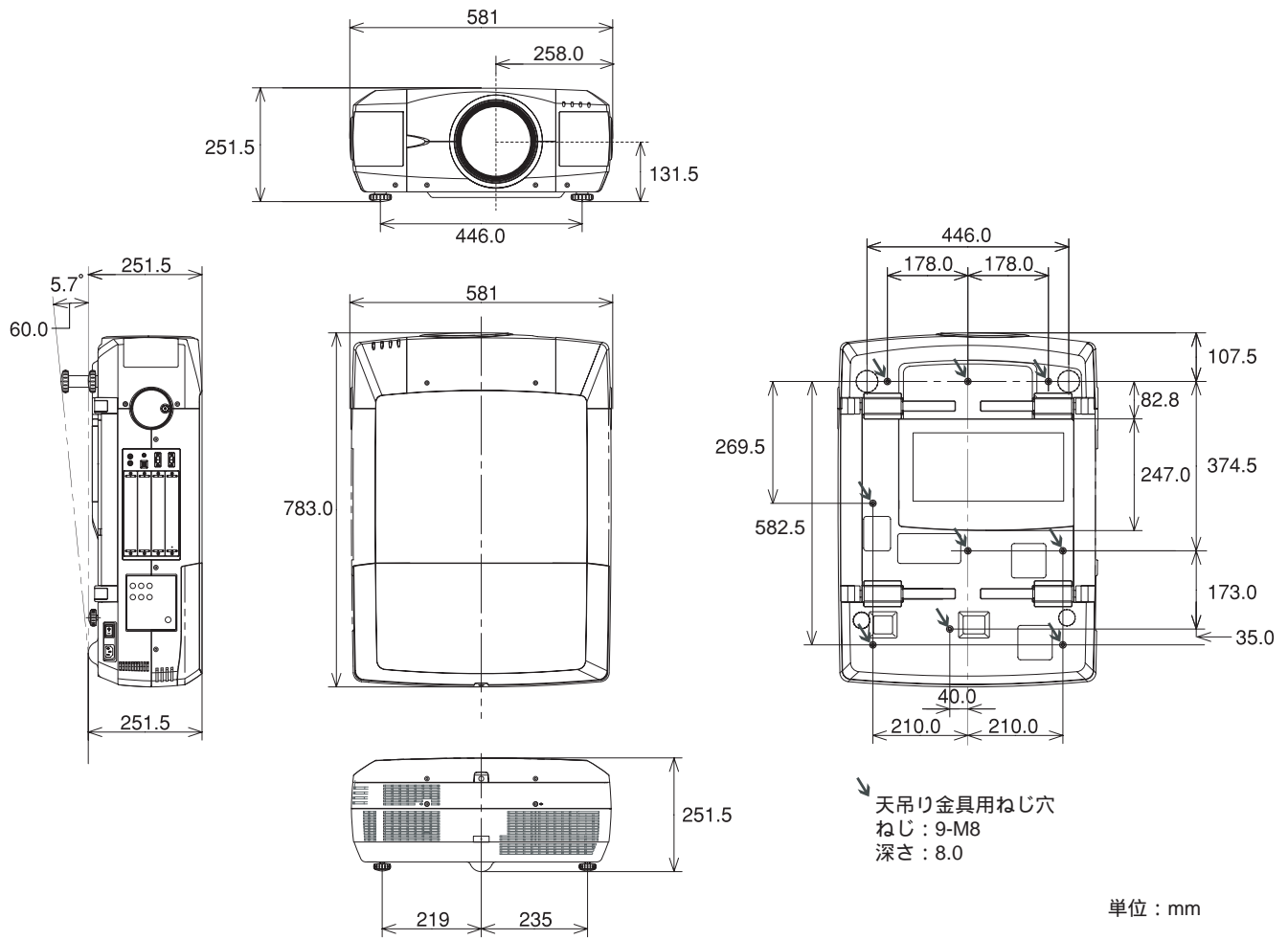
サービス・メンテナンスで使用する端子です。

USB コネクター (シリーズ B)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

寸法図



保証とアフターサービス

この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、ランプは6ヶ月です)

保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

修理を依頼されるときに


ご連絡いただきたいこと

お客さまのお名前
ご住所、お電話番号
商品の品番
故障の内容(できるだけ詳しく)

補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検		長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ! (熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)	
	<p>このような 症状は ありませんか</p>	<p>電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 映像が時々消えることがある。 変なおいがしたり、煙が出たりする。 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 内部に水や異物が入った。 その他異常や故障がある。</p>	<p>➡</p>
	<p>ご使用 中止</p>	<p>故障や事故防止のため、 スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。</p>	

お客さまメモ	
品番	LP-XF42
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

DIカンパニー
プロジェクタ統括BU マーケティングBU
国内販売部 国内販売課
〒 574 - 8534 大阪府大東市三洋町 1 - 1